

春の恵み

皆さんのお家には何か果実などが採れる木を植えておられるだろうか？メジャーなところでは柿などがありますね。うちの家には小さな桜の木が植えてあり、なんとサクランボが採れる。羨ましいと思いますか？数年前までは私も凄く嬉しかったのですが、このところ少し困っております。木って当たり前のように成長するんですよね。どんどん大きくなって今では大人の背丈くらいになってしまいました。何が困るかっていうと鳥に食べられないように防鳥ネットをかけないとダメなんです、ネットを木全体にかけるとなると大騒動なんです。しかも、うちの奥さんは「鳥にあげれば良いのに、あんたが欲しいんやったらあんたがネットかけてな」ですし、ときには頼りになる息子にいたっては「虫がいるから絶対に手伝わないから」と宣言しており、一人でネットかけです。30分くらい格闘してやっとネットをかけるような状態です。頑張っかけてやれやれと思っていると敵（鳥）もさるものすき間を見つけて中に入り込んでついばんでいるではありませんか。穴を塞ぐべく洗濯バサミを持って修繕に向かいます。格闘の末何とか塞ぎます。これを2、3回繰り返さないとダメなんです。そして赤く実った果実を収穫するのはもちろん私。しかも一人で。小悪魔は「食べたいから採って来て」とのたま、大悪魔は「あんたの木やろ」と言って手伝いもしません。泣く泣く収穫です。まあ苦勞しただけあって私にはありがたくとても美味です。無手伝いさん達は「酸っぱいな」とか勝手なことを言っておりますが…。これ以上木が成長したらつらいなあ。
(炭水化物)

四分法

お焼き

うちの娘は10ヶ月になり、ミルクから離乳食に移行しつつある。好き嫌いはそこそこあるようで、嫌いなものが口に入るとものすごくいやそうな顔をしてくるが、吐き出すことはなく頑張って食べてくれるので助かっている。色々食べさせていると、じゃがいもやさつまいもから作ったお焼き、とくに低充填率のフワツとしたものがお好みのようで、これを食べているときはすこぶる機嫌が良い。また、最近は自分の手でつかんで食べるのが楽しいらしく、特につかみやすいお焼きを食べるのは楽しくて仕方ないようである。機嫌が良く楽しいのは素晴らしいことなのだが、うちの娘はテンションが上がってくると机やイスをバシバシ叩くという癖がある。ただ叩くだけならまあうるさいだけの話なのだが、お気に入りのお焼きを持ったままバシバシされるとテーブルの周りはお焼きのかけらが散乱し大惨事となる。これはまあ掃除すれば良いのだが、掃除とは別にせつかくフワフワだったお焼きが見事なまでに圧縮されてしまうという問題が発生する。自身が散々バシバシして圧縮したので自業自得ではあるが、赤ちゃんにそんなことが理解できるわけも無く、圧縮されて固くなったお焼きを食べるとどんどん機嫌が悪くなる。そうなるも機嫌をなおしてもらうために新しいお焼きを与え、機嫌がなおるとまたバシバシ圧縮…の繰り返しとなり、他の離乳食の倍は疲れる。経験は無いが賽の河原で石を積むのはこんな感じなのかもしれない。
(如月二月)

四分法

これが家で採れたなら

「春の恵み」の続きです。皆さんは家にどんな果樹が欲しいですか？私はもうサクランボはこりこりなのでもっと大きな実のなるものが欲しいなあと思っております。そこで考えたのがアボカドです。アボカドならそんなに沢山実がなるわけではない（であろう）し、鳥も流石に手を出せる大きさではないでしょう。良い考えだと思いませんか？「アボカドの種なんて発芽するの？」とお思いの方多いかと思いますが、調べてみて下さい。なんとほぼ100%発芽するらしいです。生命力にあふれていますね、素晴らしいです。しかも水耕栽培である程度まで大きくすることが簡単に出来るそうです。もう良いところしかみつきません。ただ一し、根本的な問題があるんですよ。それはアボカドは一本では自然受粉が出来ないということなんです。アボカドは春に花を咲かせるのですが、雄花と雌花があつてしかも開花時期が異なるんです。もし受粉したければ先に咲く雄花から花粉を採って冷蔵庫で保管して雌花が咲いたらそれを筆等でちょんちょんと付けて回る必要があるそうです。これは面倒くさい。自然に受粉させるためには何本もの木を植えてたまたまタイミングの違う時期に開花したものと士が受粉するのを待つ必要があります。広大な庭があるならいざ知らず、我が家の狭い庭に何本ものアボカドの木が生えているなんて想像もできません。「やはり諦めるしかないのかあ」と思いながら今年もサクランボの収穫に一人励む筆者であった。
(炭水化物)

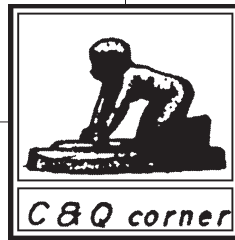
四分法

就職活動

私はいわゆる就職氷河期の世代で、20数年前に大学を卒業した時には本当に就職がなかった。どんなに優秀な先輩や同級生でも、いわゆる有名企業にはことごとく落とされていて、私は安定した人生を諦めて(?)大学に残った。当時は自分たちの世代が苦勞しているとはあまり考えていなかったが、最近の学生の就活状況を見ていると、やはり昔は異常だったのだと感じる。もちろん現在の学生も就活で苦勞しているとは思いますが、それでも落第生気味の学生（失礼）も大手企業からきちんと内定をもらってくる。企業の方からは内定を出しても逃げられるというボヤキもよく聞く。面接で学生が「貴社で絶対に働きたいです。」と言って内定辞退をしても法的拘束力がある訳ではないようである。でもこれって嘘だし、倫理的にどうなのといつも思う。一応担当している学生には、企業も採用には必死だから自分の考えを正直に伝えなさい、と指導はしているがどこまで聞いているかは分からない。就職活動はこういうものだ企業採用担当者も学生も諦めているのかもしれないが、日本の新卒就活システムに無理があるのだと思う。

そして最近ではインフレということもあり、一部企業では初任給も上がっているようである。某外資系化学メーカーの工場から内定をもらった学生から給料を聞いてとても驚いた。ちょっと前の私の給料とほとんど変わらなかった。博士卒でも修士卒でもなく、学部卒でもこの待遇である。一応仕事なので、この学生の指導もちゃんとやっているつもりではあるが、メンタルが崩壊しそうである。もう一回人生をやり直したい。
(リリー)

四分法



一般社団法人 日本粉体工業技術協会 本部：〒600-8176 京都市下京区烏丸通り六条上ル北町 181 番地 第5キョートビル7階
TEL 075-354-3581 FAX 075-352-8530
一般社団法人 日本粉体工業技術協会 東京事務所：〒113-0033 東京都文京区本郷 2-26-11 種苗会館5階
TEL 03-3815-3955 FAX 03-3815-3126

POWTEX[®]2024 (第25回国際粉体工業展東京) 出展のお誘い
—お申込みはお早めに—

本年11月27日(水)から29日(金)までの3日間、東京ビッグサイトにおいて開催する「POWTEX2024」への出展を現在募集しております。前回及び大阪展に引き続き、実展示のリアル展示会とオンライン展示会〔会期：2024年11月11日(月)～12月26日(木)〕を併設する、ハイブリッド展示会としての開催となります。

ご出展に関する詳細はホームページ (<https://www.powtex.com/tokyo/>) をご覧のうえ、是非この機会に貴社商品・技術のPRの場、商談の場として、ご出展をご検討下さいますようお願いいたします。

化学・食品・材料関係など、多種多様な方が来場されます

《前回来場者数》リアル展：11,257名／オンライン展：6,424名

あらゆる産業のものづくりの現場で不可欠な粉体技術。

「化学・ゴム・プラスチック・紙・パルプ」, 「食品・飼料」, 「鉄鋼・金属・鉱業・セメント」, 「無機材料・セラミックス」, 「電気・電池・エレクトロニクス」, 「医薬品・健康食品・化粧品」, 「環境・エネルギー・資源・リサイクル」など、幅広い業界の方がご来場されます。

ユーザー目線の併催行事を多数開催

本展では、理論的な基礎を講演する「粉体工学入門セミナー」や実践的な基礎を講演する「粉体機器ガイダンス」、最新の話題と粉体技術を講演する「最新情報フォーラム」など多彩な併催行事を予定しております。

《今年の粉体機器ガイダンス分野》

粉体ハンドリング／計装測定／乾燥

ハイブリッド展としての付加価値

本展は、引き続きオンライン展を実施します。前回出展社からは、「予想以上の集客があった」「1名の来場者がいつ、どのページを閲覧したか等、情報トリガーが多かった」などの声が上がっています。また、前回来場者からは「登録情報量が他の展示会より多かった」「コロナが収束してもハイブリッドは継続して欲しい」などの意見が寄せられ、出展社と来場者の双方から好意的な評価を得ています。

◇開催概要◇

会期：11月27日(水)～29日(金) 9:30～17:00

会場：東京ビッグサイト 東1・2・3ホール

主催：(一社)日本粉体工業技術協会

オンライン展会期：11月11日(月)9:30～12月26日(木)17:00

出展申込締切：6月28日(金) ※ただし満小間になり次第締切

展示会 URL：

“POWTEX2024”で検索！



<https://www.powtex.com/tokyo/>

◇出展対象技術・製品◇

●粉粒体製造機器／●粉粒体計測機器／●研究室用機器・ラボ機／●受託加工・受託計測／●シミュレーション・ソフト／●粉体材料／●書籍・JIS規格・標準粉体

【特別展示ゾーン】

特別展示ゾーンとして「先端材料ゾーン」と「粉体シミュレーションゾーン」を設置。基本ディスプレイ付き、低価格の規格と、一般ゾーン、大学・研究機関限定のパネル展示をご用意しました。両トピックスをテーマに展示会場内でセミナーを開催し、関連ユーザーを誘致します。

《本展示ゾーン特典》会場内特設ステージにてプレゼンテーション（15分）を無料にて行えます。※各ゾーン先着8社限定

先端材料ゾーン

● ナノマテリアル／● 電池材料／● 医薬品材料／● 食品用材料／● 複合材料／● 材料製造法

粉体シミュレーションゾーン

● ソフトウェア／● シミュレーション用物性取得／● 検証実験用機器

◇小間規格と出展料◇

	出展料金 1小間あたり（消費税10%込み）		小間規格 間口 m × 奥行 m × 高さ m
	主催会員	非会員（一般）	
一般ブース / 小間	363,000 円	418,000 円	2.97 × 2.97 × 2.7 ^{**}
【特別展示ゾーン】 先端材料ゾーン 粉体シミュレーションゾーン	242,000 円	264,000 円	1.98 × 1.98 × 2.7
パネル展示 ^{**} / 1スペース	55,000 円		
トライアルブース (初回出展社限定・基本装飾付き)	418,000 円		2.97 × 2.97 × 2.7

* 10小間以上の独立小間は装飾高さ5.0mまで可能です。

** 大学・研究機関または一般小間・トライアルブース出展社のみ対象となります。

◇開放面の指定◇

1～3小間および4・6・8小間の出展社（ブロックダブルのみ）は開放面の指定をすることができます。（別途有料）

◇来場対象業種◇

化学・ゴム・プラスチック・紙・パルプ／医薬品・健康食品・化粧品／食品・飼料／無機材料・セラミックス／鉄鋼・金属・鉱業・セメント／電気・電池・エレクトロニクス／機械／エンジニアリング・建設／環境・エネルギー・資源・リサイクル／金融・保険・商社／官公庁・学校・国公立研究機関 他

◇多彩な併催行事◇

ユーザー企業からのニーズが高い『粉』に関する併催企画を多数開催し多くの来場者をお招きします。粉体の業界団体だからこそ提案できる内容です。

◇リード獲得の機会拡大 オンライン展◇

POWTEX2024は、ハイブリッド（リアル展示会＋オンライン展示会）の開催となります。

オンライン展では、各社サイトを訪れた方（クリックした方）のユーザー情報が出展社ページに蓄積され、名刺情報内容がダウンロードできます。リアル展示会と同時に、オンライン展で多くのコンテンツ登録を行っていただく事により、より多くのユーザー情報獲得のチャンスが生まれます。※オンライン展のみの出展はできません

◇粉体技術総覧 2024 / 2025 掲載募集のご案内◇

毎回大好評で来場者にお持ち帰りいただいている粉体技術総覧。

ユーザー様は無論のこと、出展社にとっても活用できる資料になるよう粉体機器をはじめ、基礎的な粉体技術や情報が網羅されたガイドブックとして前回、大幅刷新しました。粉体工業展終了後も、機器選定の資料に、粉体技術の問合せに、製造や計測の委託先の調査に、社内教育の資料に、幅広くご利用いただけます。今回から巻頭に「注目の新製品」ページを新設、御社の機器・技術の宣伝と出展・展示との相乗効果も期待できます。ぜひ、掲載をご検討ください。

《WEB版》<https://funtaisouran.com/>

お問合せ・出展お申込み先／展示会事務局

(株) シー・エヌ・ティ

〒 101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-24-3 FORECAST 神田須田町 4 階

TEL: 03-5297-8855 FAX: 03-5294-0909 E-mail: info2024@powtex.com

主催者

(一社) 日本粉体工業技術協会 東京事務所 (本展示会窓口)

〒 113-0033 東京都文京区本郷 2-26-11 種苗会館 5 階

TEL: 03-3815-3955 FAX: 03-3815-3126

◆ 協会行事日程のご案内

最新情報は協会ホームページをご確認ください。

行事名	月日	場所	備考
粉体入門セミナーⅠ (第71回)「粉体とは何だろうか?～その性質と評価～」	6月5日(水)～6日(木)	大阪/KITENA 新大阪	10:00～17:00
粉体入門セミナーⅡ (第72回)「粉をつくり、そして利用するために」	6月18日(火)～19日(水)	大阪/KITENA 新大阪	10:00～17:00
粉体入門セミナーⅢ (第73回)「粉をあやつる」	7月10日(水)～11日(木)	大阪/KITENA 新大阪	10:00～17:00
粉じん爆発・火災安全研修 [初級・基礎編]	9月2日(月)～3日(火)	東京/種苗会館6階会議室およびWEB	
粉体技術者養成講座「成形」	9月13日(金)	岐阜/名古屋工業大学先進セラミックス研究センター	
粉体技術者養成講座「粉砕」	10月17日(木)～18日(金)	東京/(株)奈良機械製作所	
粉体技術者養成講座「粒子加工」	10月30日(水)～31日(木)	大阪/(株)ダルトン	
粉体技術者養成講座「乾燥」	10月～11月	静岡/大川原化工機(株)	
粉体技術者養成講座「分級」	11月上旬	神奈川/(株)徳寿工作所	
粉体技術者養成講座「集じん」	12月4日(水)～5日(木)(予定)	名古屋/ウイंकあいち(予定)	
粉体技術者養成講座「ろ過」	2025年1月下旬～2月初旬頃	大阪/関西金網(株)	
粉じん爆発・火災安全研修 [中級・技術編]	2025年3月頃	未定	

◆ 分科会の開催案内

会員の方ならどなたでも参加できます。非会員の方でも参加できますので、参加を希望される場合は、各分科会の申込み先あるいは協会本部までお問合せください。分科会の活動状況と詳しい開催案内は協会ホームページでご確認ください。

行事名	月日	時間	場所
粉体シミュレーション技術利用分科会	5月15日(水)	9:00～17:20	兵庫/姫路・西はりま地場産業センター(じばさんびる)
第1回バイオ粒子プロセス分科会	6月11日(火)	13:10～18:10	東京/ライオン(株)平井研究所
第1回混合・成形分科会	6月21日(金)	13:00～17:00	茨城/(株)ツムラ 茨城工場・研究所
第1回粉砕分科会	6月27日(木)～28日(金)	終日	和歌山/花王(株)和歌山工場

第1回粒子加工技術分科会	7月5日(金)	9:00～16:50	千葉／(株)ファンケル美健 千葉工場ほか
--------------	---------	------------	----------------------

■ 2024年度 第1回粉体シミュレーション技術利用分科会

2024年5月15日(水)に「粉体プロセスのシミュレーションベースデジタルツインの実現」をテーマとして、粉体シミュレーション技術利用分科会分科会を開催します。

今回の分科会は、粉体工学会2024年度春期研究発表会シンポジウムとして開催いたします。ご多用とは存じますが、お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

プログラム：

- 9:00～10:00 APPIE Computational Granular Mechanics Award Lecture
Simulation and modelling of particulate systems
Monash Univ. Aibing Yu
- 10:00～10:10 Break
- 10:10～11:10 Young Researcher Session I
- 11:10～11:40 Young Researcher Session II
- 11:40～13:00 Lunch
- 12:00～13:00 【Luncheon Seminar】
- 13:10～13:25 【Best Presentation Award Ceremony】
- 13:30～14:15 Young Researcher Session III
- 14:15～15:15 Invited Lecture Session
- 15:15～15:20 Break
- 15:20～17:20 Keynote Lecture Session

日 時：2024年5月15日(水)

会 場：姫路／西はりま地場産業センター(じばさんびる)
公益財団法人 姫路・西はりま地場産業センター(じばさんセンター)
兵庫県姫路市南駅前町123番(JR 姫路駅前)

申込方法：下記の粉体工学会のお申込みページよりお申込みください。

お申し込み先 URL：<https://www.sptj.jp/event/haru/>

Web 申込締切：2024年5月15日(水)(先行販売支払い締切：2024年5月7日(火))

参加費(先行申し込み料金)：

- 会員：9,900円[うち消費税等900円]
- 学生会員：3,300円[うち消費税等300円]
- 非会員：13,200円[うち消費税等1200円]
- (消費税等込/税率10% 登録番号 T8130005012383)
- ※会員は日本粉体工業技術協会及び粉体工学会
- ※先行振込締切日(5月7日予定)以降は、参加費は当日扱いとなります。

個人情報の管理について

いただいた個人情報は当分科会が責任を持って管理し、当分科会と協会からの案内にのみ使用します。他の用途には一切使用しません。

問い合わせ先

粉体シミュレーション技術利用分科会 事務局
一般財団法人 電力中央研究所
エネルギートランスフォーメーション研究本部 プラントシステム研究部門 丹野 賢二
E-mail：k-tanno@criepi.denken.or.jp

■ 2024年度第1回バイオ粒子プロセス分科会

この度バイオ粒子プロセス分科会では、日用品メーカーのライオン(株)に協力をいただきまして、「微生物汚染の防止技術」をテーマに界面微生物工学に関する講演ならびに、ライオン(株)平井研究所の見学などを予定しております。

何かとご多用のこととは存じますが、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。誠に勝手ながら、会場の

都合で先着 30 名までとさせていただきます。

開催日時：2024 年 6 月 11 日（火） 13:10～18:10（受付：13:00～13:10）

会場：東京／ライオン（株）平井研究所（東京都江戸川区平井 7-2-1）

JR 総武線「平井駅」北口より徒歩 12 分程度

（本数は少ないですが、平井操車場行きバスにて平井西袋バス停下車目の前）

※ 守衛所にて分科会参加者であることを告げて、入構証をお受け取り下さい

※ 正面玄関から入っていただき、左手にある受付にてお名前をお申し出ください

次 第：

13:00～13:10 受付（平井研究所ロビー）

13:10～13:20 開会挨拶

コーディネータ 野村 俊之

13:20～14:20 基調講演「界面微生物工学の基礎と応用」

名古屋大学大学院 教授 堀 克敏 氏

14:20～14:30 < 休 憩 >

14:30～14:50 挨拶・会社紹介

ライオン（株）先進解析科学研究所 所長 柿澤 恭史 氏

14:50～15:20 技術講演①「溶剤の殺菌効果と液体洗剤中における防腐メカニズム解析」

ライオン（株）先進解析科学研究所 研究員 加藤 泰輝 氏

15:20～15:50 技術講演②「カチオン界面活性剤のウイルス不活化増強効果およびメカニズム解析」

ライオン（株）先進解析科学研究所 研究員 斎藤 玲 氏

15:50～16:00 < 休 憩 >

16:00～17:00 研究所見学 ライオン（株）ご担当者

17:00～17:10 < 休 憩 ・ 移 動 >

17:10～18:00 情報交換会（平井研究所食堂にて軽食および飲料をご用意しております）

18:00～18:10 閉会挨拶

副コーディネータ 荻 崇

参加費：日本粉体工業技術協会 会 員 5,000 円 [うち消費税等 454 円]

非会員 6,000 円 [うち消費税等 545 円]

※金額は消費税等込 / 税率 10% 【登録番号 T8130005012383】

申込および支払い方法：

① クレジットカードにてお支払いをご希望の方

PEATIX よりお申込み下さい。⇒ <https://peatix.com/event/3884209>

※事前オンライン（クレジットカード）決済のみとします。

（クレジットカード情報は PEATIX 経由での決済のため当会で把握することはありません。）

※領収書は当日、会場受付にてお渡しします。（PEATIX 発行の領収書はインボイス制度非対応）

※キャンセルの際は PEATIX より「主催者へ連絡」ください。キャンセル料については PEATIX の規定に従います。

② 現金にてお支払いをご希望の方

Google フォームよりお申込み下さい。⇒ <https://forms.gle/8TbHriTpn6KTboGq5>

※当日、会場受付にて集金し、領収書をお渡しします。

※キャンセルの際は、お申込み後にお送りします E-mail にご返信ください。

申込締切：2024 年 5 月 30 日（木）10:00

定 員：30 名

当日の緊急連絡先：参加申込みをいただいた方に個別にご連絡します。

個人情報の管理について：

受領した個人情報は当分科会が責任を持って管理し、当分科会と協会からのご案内にのみ使用します。

当日配布する参加者名簿には、会社名および氏名を記載させていただきます。名簿への掲載を希望されない方は申込時にご連絡ください。

その他の注意事項：

① 企業（同業他社を含みます）によってはご参加をお断りする場合があります。

② 会場提供企業の駐車場は利用できません。

③ 施設内は禁煙です。

④ 写真・動画等の撮影は禁止です。

⑤当日の進行状況等によって終了時間は多少前後する場合があります。

■ 2024年度 第1回粉砕分科会

この度2024年度第1回粉砕分科会を花王（株）のご協力をいただき、開催することになりました。

今回は「私たちの生活を豊かにする粉体・粉砕技術」をテーマとして、花王（株）の見学、並びに関連技術のご講演を企画いたしました。

ご多用とは存じますが、お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時：2024年6月27日（木）13:30～6月28日（金）12:00

（受付開始：6月27日13:00～）

場所：花王（株）和歌山工場（住所：和歌山県和歌山市湊1334）

プログラム：

【2024年6月27日（木）】

会場：花王（株）和歌山工場

司会：代表幹事 石井 利博

13:30～13:35 開会挨拶

粉砕分科会コーディネータ 大阪大学名誉教授 内藤 牧男

13:35～14:00 「花王グループのご紹介」

花王（株） 加工・プロセス開発研究所第1研究室 首席主任研究員 グループリーダー 大崎 和友 氏

14:00～16:10 花王（株）和歌山工場ならびに花王エコラボミュージアム見学

（二つのグループに分かれて見学）

16:10～16:30 休憩

16:30～17:20 講演1「湿式せん断プロセスによるポリマー複合材料の高機能化」

産業技術総合研究所 主任研究員 富永 雄一 氏

送迎バスにて移動

18:00～19:30 懇親会（がんこ和歌山六三園）

【2024年6月28日（金）】

会場：花王（株）和歌山工場

司会：副コーディネータ 東北大学 教授 加納 純也

9:00～9:50 講演2「メカノケミカル活性化を利用した金属酸化物ナノ粒子の合成」

大阪公立大学 教授 岩崎 智宏 氏

10:00～10:50 講演3「花王の粉体加工技術～低環境負荷プロセスによる新価値創造～」

花王（株） 加工・プロセス開発研究所第1研究室 首席主任研究員 グループリーダー 大崎 和友 氏

11:00～11:50 講演4「難溶性化合物の微粒化及び非晶質化による機能性粉体の作製およびその応用」

和歌山県立医科大学 教授 門田 和紀 氏

11:50 閉会挨拶

粉砕分科会 副代表幹事 日清製粉グループ本社 湯蓋 一博

参加費：

会員 7,000円（うち消費税等636円）／非会員 9,000円（うち消費税等818円）

[消費税等込／税率10%]

懇親会費

会員 7,000円（うち消費税等636円）／非会員 7,000円（うち消費税等636円）

[消費税等込／税率10%]

登録番号 T8130005012383

募集定員：50名

申込方法：GOOGLE FORM (<https://forms.gle/kDxtb84j6DC2JhEDA>)にてお申し込み下さい。(GOOGLE FORMのご利用が難しい場合は、協会ホームページより参加申込書をダウンロード、必要事項をご記入の上、メール添付にてお申し込みください)

※お申し込み受領後に発行する参加受付書を印刷し、当日受付にてお示しください。

※ご連絡いただいた個人情報は当分科会が責任を持って管理し、当分科会と協会からの案内にのみ使用します。他の用途には一切使用しません。

<メールによる受付>



アシザワ・ファインテック（株） 微粒子技術研究所 石井 利博

E-mail : ishii@ashizawa.com

申込締切日：2024年6月10日（月） ※定員に達し次第締め切ります。

参加受付の制限について（同業他社の方のご参加について）

今回の見学先の関係から、同業他社の方のご参加をお断りする、もしくは当該プログラム一部のご参加を遠慮いただく場合があります。

参加費用について

申込受付後に発行される請求書に記載された方法にてお支払い下さい。その際の手数料は恐れ入りますがお申込者にてご負担願います。

参加申し込み後のキャンセルについて

当粉砕分科会の運営を円滑に行なう都合上、参加申し込み受付後のキャンセルはご遠慮下さい。代理の方の参加をお願いいたします。

その他の注意事項

- ・施設内は禁煙、写真・動画撮影は禁止です。
- ・当日配布の参加者名簿に貴社名とご氏名を記載いたしますので、ご承知おきください。
- ・当日の進行状況等によって時間が多少前後する場合があります。
- ・生産の都合により、ラインが稼働していない場合がありますので、予めご了承ください。
- ・見学施設への直接のお問い合わせは御控えください。

■ 2024年度第2回粒子加工技術分科会

本年度第2回の見学・講演会を（株）ファンケル美健千葉工場にて、下記の要領で開催いたします。同工場は、防腐剤を含まない無添加化粧品の生産を担っています。菌や異物による汚染防止のため、医薬品製造レベルの高い清浄度を持つクラス100のクリーンブースで充填しています。さらに、『新鮮・作りたて』を顧客に届けるため、需要に応じて週単位で生産計画を見直し、必要な量とタイミングで効率的に作る独自のフレキシブル生産体制を整えています。2016年には、サプリメントの製造ラインを増設しました。厳しい管理基準に加え、医薬品（固形製剤）製造レベルの衛生環境を整えています。また、フードディフェンス強化のため、工場入口に業界でも先進技術となる静脈認証システムを導入し、作業者の入場管理を徹底しています。

また、午後の講演会につきましては、直近にある東京理科大学 野田キャンパスにおいてご案内のように4名の講師の方々から最新の研究・技術についてご講演頂けることになりました。

日時：2024年7月5日（金） 9:00～16:50

場所：見学会：千葉／（株）ファンケル美健 千葉工場

〒270-0107 千葉県流山市西深井 1028-5 TEL: 04-7155-0011

講演会：千葉／東京理科大学 野田キャンパス カナル会館

〒278-8510 千葉県野田市山崎 2641

集合場所：8:50～9:00 流山おおたかの森駅 東口

（つくばエクスプレス線／東武アーバンパークライン）

【送迎バスのご案内】

（往路）（9時）流山おおたかの森駅出発 ⇒ ファンケル美健 ⇒ 東京理科大学

（復路）東京理科大学 ⇒ 流山おおたかの森駅（17時半頃着）

プログラム：

受付	9:00～9:30	
見学会	9:30～9:40	開会の挨拶
	9:40～10:00	会社案内 千葉工場 概要説明
	10:00～11:30	工場見学および質疑応答
	バスにご乗車の上、東京理科大学へ移動	
昼食	12:00～12:50	（東京理科大学 カナル会館にて）
講演会	12:50～13:00	開演の挨拶
	13:00～13:50	講演1 「健康食品の製剤技術（仮題）」

(株) ファンケル 総合研究所 機能性食品研究所 製剤・加工技術開発グループ 足立 知基 氏
13:50 ~ 14:40 講演 2 「医療用経口配合剤の製剤開発」
第一三共 (株) 製剤技術研究所 研究第四グループ 早川 良一 氏
14:40 ~ 15:00 コーヒーブレイク
15:00 ~ 15:50 講演 3 「医薬品品質評価の視点と東京理科大学の取組み」
東京理科大学 薬学部特任教授 鹿野 真弓 氏
15:50 ~ 16:40 講演 4 「大学から発信する根拠に基づく臨床製剤 (EBHF)」
東京理科大学 薬学部教授 花輪 剛久 氏
16:40 ~ 16:50 閉会の挨拶
16:50 現地解散

(流山おおたかの森駅への送迎バスご利用, または運河駅まで徒歩 5 分)

定員: 60 名 (先着順で定員に達し次第締め切らせていただきます)

参加希望が多数の場合には 1 社 1 名とさせていただきます。

参加費: (一社) 粉体工学会・(一社) 日本粉体工業技術協会 会員: 8,000 円 [うち消費税 727 円]

非会員: 11,000 円 [うち消費税 1000 円]

学校・研究機関関係 (学生含む): 2,000 円 [うち消費税 181 円]

(消費税等込/税率 10% 登録番号:T8130005012383)

※ 会費には昼食代を含みます。

申込締切: 2024 年 6 月 21 日 (定員になり次第締め切ります。)

申込方法: EventRegist (イベント業者) からの申込とします。以下よりお申し込みください。

※ご注意ください。5/17 日よりお申込みの受付を開始いたします。

<https://eventregist.com/e/z51s4R3Vd4z1>

・事前オンライン (クレジットカード) 決済のみとします。

クレジットカード情報については EventRegist 経由でのお支払いであり当会で把握することはありません。

※ご注意ください: 1 社から複数人がご参加される場合でもお一人ずつお申し込みください。

・領収書: ご希望の方には, 見学講演会終了後に T 番号付 PDF で発行されメールにて送付されます。

EventRegist 申し込み画面にて「領収書を希望する」にチェックを入れてください。

・キャンセル料: EventRegist の規定に従います。

・個人情報の管理については, 当分科会が責任を持って管理し, 当分科会と協会からの案内にのみ使用します。他の用途には一切使用しません。

・申込に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

(株) ダルトン 浅井直親 n-asai-q2jx@dalton.co.jp

工場見学時の注意事項

・同業者はお断りする場合があります。

・工場内の移動の際は, 係員の指示に従って下さい。

・見学中のメモは可, 撮影は基本的に不可としますが, 許可のある場合は除きます。

・自家用車, 社用車及びレンタカーでのご来場はお断りいたします。

・基本的には全て禁煙となります。可能な場合は, 係員が誘導いたします。

お問合せ先

(株) 徳寿工作所 中村 俊郎 t.nakamura@tokujuk.co.jp

ホソカワミクロン (株) 横山 裕志 hyokoyama@hmc.hosokawa.com

◆ **粉体関連総合情報誌「粉体技術」**

日本粉体工業技術協会が発行する月刊「粉体技術」は、粉体に関わるあらゆる技術、粉体領域に関する最新情報、マーケティング・マネージメントおよび海外情報など幅広い内容を網羅した**粉体関連産業に携わる方々への総合情報誌**です。一般の書店などでは容易に入手できませんので、ぜひ予約購読をお願い致します。

申込み先：協会ホームページ「粉体技術」ページ (<https://www.appie.or.jp/>)

「粉体技術」2024年5月号（予定）

- <巻頭言>..... 三庄インダストリー（株） 山本 努
- <粉の最前線>..... フルード工業（株） 牟禮 茉佑香
- <特集>粉体シミュレーション特集
 - 特集「粉体シミュレーション特集」を企画して..... 特集担当編集委員 渡辺 香, 加納 純也
 - 粗視化モデルを組み込んだDEMシミュレーションの湿潤粒子造粒プロセスへの適用..... 早稲田大学 三崎 亜衣 他
 - 微粉炭燃焼における数値シミュレーション..... (一財)電力中央研究所 丹野 賢二
 - 粉体シミュレーションの産業応用..... (株)構造計画研究所 山口 賢司
 - 高炉の装入プロセスにおける粉体シミュレーション活用に向けた検討事例..... 日本製鉄（株） 三尾 浩
 - 粉体シミュレーションを活用した製造プロセス改善事例..... (株)ダイセル 糸見 明穂
 - DEMシミュレーションによるポットブレンダーの混合機構の解明と最適設計
..... (国研)産業技術総合研究所 綱澤 有輝
- <現場ルポ>プライミクス株式会社..... 「粉体技術」編集委員会
- <わが社のプロフィール>..... 三菱ケミカル株式会社
- <現場で使える粉体入門講座>
 - 第14回 気中における分散 岡山大学 後藤 邦彰
..... マジェリカ・ジャパン（株）、東北大学 池田 純子
- <連載>
 - 海外市場情報..... トリプルエーマシン（株） 石戸 克典
 - トレンドを掴む..... オペレーショナルデザイン（株） 取締役デザイナー
(沼津信用金庫 参与/富士宮信用金庫 監事) 佐々木 城彦
 - 粉体カルテットのティータイム..... 粉体カルテット
- <お知らせ>

■■ 協会行事予定の詳細はホームページ (<http://www.appie.or.jp>) でご確認ください ■■

一般社団法人粉体工学会第4回功績賞受賞者

仙名 保氏

略 歴



1970年3月 慶應義塾大学大学院，博士課程所定単位取得退学
1972年8月～1974年9月 アーヘン工科大学・博士研究員
1980年9月～1981年8月 カールスルーエ工科大学・博士研究員
1988年4月 慶應義塾大学理工学部応用化学科・教授
2008年4月 慶應義塾大学名誉教授
現在 カールスルーエ大学ナノテクノロジー研究所（ドイツ）研究員；スロバキア科学アカデミー地質工学メカノケミストリー研究所（スロバキア）研究員

授 賞 理 由

仙名保氏は、コロイド分散系のレオロジー、微粒子材料の複合化、粉体界面の物理化学について幅広く研究し、その発展に非常に大きな貢献をしてきた。例えば、固体界面で起こる物理化学反応を実験とシミュレーションにより追究し、粉体工学にメカノケミストリーの概念を導入した。界面をメカノケミカル処理する初期段階において、新生物質としてナノ粒子が生成することから、強誘電体材料、電池材料、生体材料など、幅広い素材や分野での材料創製において従来技術では成し得なかった抜群に魅力的な特性を与えられることを明らかにした。固体/固体間におけるメカノケミカル複合化によって、念入りな前処理をしなくとも固体界面で架橋結合を直接生成させ、最低限のエネルギーコストで目的の複合酸化物を単相で得られることは、学術的にも工業的にも極めて画期的な成果の一例である。また、固体/液体界面においては、凝集しやすいナノ粒子の性質を逆にとり、乾式では起こり得ない現象を利用した機能性の付与方法を確立した。さらに異種物質間において、機械的エネルギーで界面を操ると、有機物の存在が無機物の電子状態を変える興味深い現象を明らかにしている。金属、有機、無機材料の界面という無限ともいえる組み合わせに着目し、かつ異分野からの知見を柔軟に取り入れて発展してきた同氏の研究は、国内外の権威ある学術誌に357編の原著論文（h-index 40, Web of Science）として発表されている。また、特許23件、著書編書8編を公表している。これらの成果は高く評価され、ホソカワ粉体工学振興財団 KONA 賞（1999）、粉体粉末冶金協会研究功績賞（2000）などを受賞している。

同氏は、テクノファーム・アクセス（株）CEO、武蔵野大学外来研究員を務めるとともに、アーヘン工科大学（ドイツ、1972-1974）、ブラウンシュヴァイク工科大学（ドイツ、2009）、エコールポリテクニクローザンヌ連邦工科大学粉体科学研究所（スイス、2010）、ハノーファー大学（ドイツ、2010）、ヨーゼフ・ステファン研究所（スロベニア、2011～）、カールスルーエ工科大学ナノテクノロジー研究所（ドイツ、2011～）、スロバキア科学アカデミー（2012～）において訪問教授として共同研究を行うなど、数多くの研究者、研究機関と国際的な学術交流を展開している。

粉体工学会には1977年に入会し、委員（1979-1986、1991-1994）、国際交流委員会委員長（1995-2002）、常任委員（1987-1990、1995-1998）、副会長（1999-2002）を歴任し、2015年より名誉会員となった。また、日本レオロジー学会理事および代議員、粉体粉末冶金協会理事、国際メカノケミストリー連盟会長、固体の反応性討論会国際組織委員会副委員長、日本粉体工業技術協会「粉体と工業」編集委員、公益財団法人コーセーカスタムテクノロジー研究財団評議員など粉体工学が関わる学協会等において様々な役職を歴任し、粉体工学の発展に大きく寄与してきた。2008年に慶應義塾大学を定年退職後の今日においても、国内外で研究活動を行い新しい知見を積極的に発信し続けており、学会内にとどまらず後進に常に刺激を与える存在である。

以上のように、仙名保氏は、粉体工学会の学会活動、学会誌、集会行事などを通じて粉体工学の発展に顕著な貢献が認められたので、粉体工学会功績賞を授与する。

2023年度（第42回）粉体工学会論文賞受賞論文および受賞者

ビーズミル摩耗シミュレーションのための界面捕捉型摩耗モデル

塩入 一希（アシザワ・ファインテック，筑波大），大村 浩之（筑波大），浅井 光輝（九州大），三目 直登（筑波大）

略 歴



塩入 一希

2008年3月 千葉大学 理学部 物理学科 卒業
2010年3月 千葉大学大学院 理学研究科 基盤理学専攻 物理学コース 博士前期課程 修了
2010年4月 アシザワ・ファインテック株式会社入社
2024年3月 筑波大学大学院 システム情報工学研究群 構造エネルギー工学学位プログラム 博士後期課程（社会人）修了 博士（工学）

現在に至る



浅井 光輝

1998年3月 岐阜大学 工学部 土木工学科 卒業
2000年3月 東北大学大学院 工学系研究科 土木工学専攻 修士課程 修了
2003年3月 東北大学大学院 工学系研究科 土木工学専攻 博士後期課程 修了 博士（工学）
2003年4月 オハイオ州立大学 機械工学科 博士研究員
2005年4月 立命館大学 マイクロ機械システム工学科 助手
2007年10月 九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門 准教授

現在に至る



大村 浩之

2018年3月 筑波大学 理工学群 工学システム学類 卒業
2020年3月 筑波大学大学院 システム情報工学研究科 構造エネルギー工学専攻 博士前期課程 修了
2023年3月 筑波大学大学院 システム情報工学研究群 構造エネルギー工学学位プログラム 博士後期課程 修了 博士（工学）
2023年4月 防災科学技術研究所 地震減災実験研究部門 特別研究員

現在に至る



三目 直登

2012年3月 東京大学 工学部 システム創成学科 卒業
2014年3月 東京大学大学院 工学系研究科 システム創成学専攻 修士課程 修了
2017年3月 東京大学大学院 工学系研究科 システム創成学専攻 博士後期課程 修了 博士（工学）
2017年4月 東京大学大学院 工学系研究科 システム創成学専攻 助教
2019年4月 筑波大学 システム情報系 助教

現在に至る

授 賞 理 由

ビーズミルは、高い粉砕性能を持つことから、基礎材料のみならず機能性塗料、電子部品材料、二次電池など高付加価値材料の開発においても注目されている。ビーズミルで問題となるのは部品やビーズの摩耗であり、粉砕性能の低下や摩耗粉の混入による製品品質の低下を引き起こす。

著者らは、摩耗を定量評価するために、シミュレーションにより部品形状の変化を経時的に解析することを試みた。部品の大きな形状変化を柔軟に表現することが可能な界面捕捉型摩耗モデルを新たに提案し、提案モデルが妥当な精度で装置の摩耗を評価できるかを検証した。その結果、ビーズミルにおいて、実物の摩耗部品の形状と計算により予測された形状がよく一致するという結果を示している。また、長時間運転による摩耗の進展で起こるビーズの衝突挙動の変化を解析し、装置運用上の管理や使用可能な稼働時間の予測に役立つことを示している。

以上のように、本論文は、粉砕機部品の摩耗による経時的な形状変化を予想し、さらには形状変化が引き起こす装置性能の変化を予測することが可能な手法を提案したものであり、学術的に優れた論文である。よって、今後の粉体工学の発展に寄与するところが多大であると考えられ、粉体工学会論文賞に値すると判断した。

掲載誌：粉体工学会誌 第60巻8号 pp.470-480, 2023年

2023 年度（第 22 回）粉体工学会 APT 賞（APT Distinguished Paper Award）

受賞論文および受賞者

One-step fabrication of soot particle-embedded fibrous membranes for solar distillation using candle burning-assisted electrospinning

Tiara N. Pratiwi (Tokyo University of Agriculture and Technology), Masao Gen (Tohoku University, Japan Science and Technology Agency), I. Wuled Lenggoro (Tokyo University of Agriculture and Technology)

略 歴



Tiara Nur Pratiwi

2017 年 9 月 インドネシア・セプルーンベンパー
工科大学 産業技術学部 化学工学科
卒業
2018 年 9 月 東京農工大学 大学院生物システム
応用科学府 研究生 修了
2023 年 9 月 同大学 食料エネルギーシステム科
学専攻 一貫制博士課程 修了 博士
(工学)
2023 年 10 月 同大学 産学官連携研究員
2024 年 4 月 santec Holdings 株式会社 半導体プロ
セス開発エンジニア
現在に至る



Wuled Lenggoro

1988 年 1 月 インドネシア・国家公務員（技術評
価応用庁）
1988 年 8 月 インドネシア・バンドン工科大学
物理工学科 中途退学（留学のため）
1989 年 3 月 国際学友会日本語学校（東京）修了
1998 年 3 月 広島大学 大学院工学研究科 博士後
期課程 修了 博士（工学）
1998 年 4 月 広島大学 教員
2007 年 1 月 東京農工大学 教員（2009 年 9 月ま
でテニュアトラック特任准教授）
2023 年 4 月 同大学 テニュアトラック推進機構
長
現在に至る



玄 大雄 (Masao Gen)

2014 年 6 月 東京農工大学 大学院生物システム
応用科学府 博士後期課程 修了 博士
(工学)
2014 年 10 月 東北大学 多元物質科学研究所 研究
支援者
2015 年 10 月 同大学 材料科学高等研究所 助教
2016 年 4 月 香港城市大学 博士研究員
2020 年 2 月 金沢大学 理工研究域フロンティア
工学系 助教
2021 年 4 月 JST 創発的研究支援事業 創発研究者
(兼務)
2022 年 4 月 東北大学 多元物質科学研究所 助教
2023 年 9 月 東京工業大学 理学院 化学系 助教
2024 年 4 月 中央大学 理工学部 応用化学科 准教
授
現在に至る

授 賞 理 由

太陽熱蒸留は、低コストかつ低環境負荷なプロセスで汚水の浄化や海水の淡水化を実現する手段として期待されるが、太陽光を効果的に熱に変換する材料の開発が鍵となっていた。本論文は、ろうそくの不完全燃焼により生成する炭素系微粒子（すす粒子）を光熱変換材料として活用し、これを静電紡糸法により製造される樹脂繊維膜と複合化させる新規手法を提案したものである。具体的には、ポリフッ化ビニリデンの静電紡糸過程において、ろうそく炎中で生成したすす粒子を気相中で固定化させる簡便な 1 段階操作によって、繊維径が数 100 nm の樹脂繊維とすす粒子が複合化された膜材料を得る手法であり、静電紡糸された樹脂繊維に対するすす粒子の搬送方法や搬送位置によって、すす粒子の複合化状態を制御できる可能性を見出した。さらに、すす粒子／樹脂繊維膜を、海水を模擬した塩水や蒸留水の気液界面に設置し、ここに模擬太陽光を照射するモデル実験によって、本研究より設計されたすす粒子／樹脂繊維膜が太陽光照射下における気液界面の選択的な加温や水の蒸発現象の促進に活用可能であることを実証した。これらの先進的な研究成果は、今後の粉体工学の発展に寄与するところが多大であると考えられ、粉体工学会 APT 賞（APT Distinguished Paper Award）に値すると判断した。

掲載誌：Advanced Powder Technology, Vol. 34, 104190, 2023 年

2023 年度（第 31 回）粉体工学会研究奨励賞受賞者

草野 巧巳（豊田中央研究所）

「電極成膜プロセス革新のための湿潤粉体のせん断特性制御に関する研究」

略 歴



2010 年 3 月 筑波大学 第二学群 生物資源学類 卒業
2012 年 3 月 東京大学大学院 理学系研究科 化学専攻 修士課程修了
2015 年 3 月 東京大学大学院 理学系研究科 化学専攻 博士課程修了
2015 年 4 月 株式会社豊田中央研究所 入社
現在に至る

授 賞 理 由

草野巧巳氏は、電極の成膜プロセスの革新技術として湿潤粉体成膜の技術開発に従事する中で、湿潤粉体中の水分分布と粉体流動特性との関係を明らかにするとともに、それらとプロセスの操作条件との紐づけから、最適な粉体流動特性を示すプロセス制御指針を明らかにする研究に取り組んでいる。まず、湿潤粉体に含まれる水中に蛍光体を分散させて蛍光顕微鏡で観察することで、湿潤粉体中の水分分布を可視化し、蛍光顕微鏡画像の自己相関関数の緩和時間から粒子間の濡れを定量化する方法を提案した。そして、湿潤粉体表面の濡れ性と粉体層せん断試験によるせん断特性との関係を明らかにした。さらに、大変形振幅レオロジー（LAOS）測定や屈折コントラスト X 線 CT 観察を適用することにより、湿潤粉体中の水分分布と流動性との関係も明らかにした。一方で、湿潤粉体物性と成膜プロセス条件の関係を明らかにするために、非等速ロール間で湿潤粉体に作用する応力の 1 次元計算式の提案や、有限要素法シミュレーションによる湿潤粉体圧縮挙動の解明など、新規分野にも積極的に挑戦している。

以上のように、草野巧巳氏は、湿潤粉体中の水分分布とせん断流動特性の関係から、シミュレーションによる粉体物性とプロセス操作条件の関係の解明まで、粉体のミクロ構造とマクロな成膜プロセスを繋ぐ新たな粉体工学の世界を切り拓いており、今後の粉体工学の発展に寄与するところが多大であると考えられ、粉体工学会研究奨励賞に値すると判断した。

参考論文（粉体工学会誌，Advanced Powder Technology 掲載）

1. 湿潤粉体における造粒体中の水分分布とせん断特性との関係解析
(粉体工学会誌 第 55 巻 11 号 pp. 588–593, 2018 年)
2. Relationship between water distribution and shear properties of wet granules
(Advanced Powder Technology, Vol. 30 (12), pp. 3253–3259, 2019 年)
3. Physical property control for innovative powder processes—Rheological control of concentrated slurry and wet granules
(Advanced Powder Technology, Vol. 31(5), pp. 1784–1788, 2020 年)
4. Rheological behavior of concentrated slurry and wet granules for lithium ion battery electrodes
(Advanced Powder Technology, Vol. 31 (11), pp. 4491–4499, 2020 年)
5. 非等速ロール間における粉体圧縮モデルの提案
(粉体工学会誌 第 58 巻 10 号 pp. 540–545, 2021 年)
6. Shear properties and water connectivity of wet granules at high solid content concentration
(Advanced Powder Technology, Vol. 33 (6), 103585, 2022 年)
(粉体工学会誌にアブストラクト掲載 第 60 巻 7 号 p. 439, 2023 年)
7. 有限要素法を用いた圧縮時の湿潤粉体挙動のシミュレーション
(粉体工学会誌 第 61 巻 1 号 pp. 9–16, 2024 年)

2024 年度 定時社員総会報告

日 時：2024 年 3 月 23 日（土）13:30～14:30

会 場：京都経済センター

議 案：[決議事項]

第 1 号議案 2023 年度事業報告および庶務事項報告案

第 2 号議案 2023 年度会計決算報告案

第 3 号議案 名誉会員推薦の件

[報告事項]

報告 1 2024 年度事業計画案

報告 2 2024 年度会計予算案

第 1 号議案 2023 年度事業報告および庶務事項報告

(1) 2023 年度 事業報告

I 行事報告

	行事名	日 時	会 場	参加 人数	内 容		備 考
					講演	その他	
1. 本部行事							
1	春期研究発表会	5.15, 16	早稲田大学国際会議場（東京）	126	54		研究助成 8 件, BP 賞 26 件, シンポ 11 件, 一般 9 件
2	2023 年度 粉体工学イブニングセミナー	5.15	早稲田大学国際会議場（東京）	68	1		講師：宇都宮大学 鈴木昇先生
3	第 57 回技術討論会	7.27, 28	川内駅コンベンションセンター SS プラザせんだい（鹿児島）	85	42	見学ツアー 2	依頼 1 件, 一般 16 件, 製品技術紹介 24 件, 特別 1 件
4	第 58 回夏期シンポジウム	9.15	I-site なんば（大阪）	45	11		特別 1, 技術紹介 6, 招待 3, 展望 1
5	秋期研究発表会	10.10, 11	インテックス大阪（大阪）	223 (内 58 名 CNT 受付)	77		受賞 5, BP 賞 44, 一般 16, 技術 9, シンポジウム 3
6	第 6 回粉体塾	10.25	京都経済センター（京都）	14	2		講師：東北大学 加納純也先生, 創価大学 松山達先生
7	第 2 回国際シンポジウム 2nd International Symposium on Powder Processing Technology for Advanced Ceramics (ISPPTAC-2)	11.15, 16	横浜国立大学（神奈川）	70	14		
2. 地方行事							
8	2023 年度 北海道談話会 第 1 回（第 32 回化学工学・粉体工学研究発表会）	1.27, 28	北見工業大学（北海道）ハイブリッド開催	86	26		化学工学会北海道支部, 化学工学北海道懇話会と共催
9	2023 年度東北談話会 第 1 回	1.23	東北大学多元物質科学研究所（宮城）	10	2		第 9 回機能性粉体プロセス研究会と共催
10	2023 年度東北談話会 第 2 回	4.19	東北大学多元物質科学研究所（宮城）	13	2	見学 1	第 10 回機能性粉体プロセス研究会と共催
11	2023 年度東北談話会 第 3 回	6.20	東北大学多元物質科学研究所（宮城）	13	2	見学 1	第 11 回機能性粉体プロセス研究会と共催
12	2023 年度東北談話会 第 4 回	8.24	東北大学多元物質科学研究所（宮城）	8	2	見学 1	第 12 回機能性粉体プロセス研究会と共催

13	2023年度東北談話会 第5回	10.27	東北大学多元物質科学研究所(宮城)	10	1	見学1	第13回機能性粉体プロセス研究会と共催
14	2024年度東北談話会 第6回	11.17	一関工業高等専門学校(岩手)	123	2		第33回化学工学一関セミナーと共催
15	2023年度第1回関東談話会・技術交流会	6.22	千葉大学(千葉)	37	学生発表7 企業発表5		ラボツアー
16	2023年度第2回関東談話会・インドネシア研修会「粉体工学に関する国際会議「The 4th International Conference and Exhibition on Powder Technology Indonesia (4th ICePTi)」	8.21	Prime Plaza Hotel(インドネシアバリ島)	23	2	展示会	招待2件 カンファレンス参加者約200名
17	2023年度粉体工学会中部談話会 見学講演会	9.19, 20	株式会社三進製作所(愛知)	24	1	見学1	
18	2023年度粉体工学会中部談話会 研究・技術討論会	12.14	名古屋工業大学(愛知)	14	2		

3. 部会・研究会・勉強会・ワークショップ

19	製剤と粒子設計部会 第14回標準処方研究フォーラム～連続設備における管理戦略: 実験データに基づく考察と提案～	4.21	じゅうろくプラザ(岐阜)	86	18		特別1件, 実験概要1件, 実験報告4件, 総合討論1件, 製品紹介10件
20	製剤と粒子設計部会 第1回新打錠研究セミナー	9.7	じゅうろくプラザ(岐阜)	103	9		
21	第40回製剤と粒子設計シンポジウム	11.20, 21	アクリエ姫路(兵庫)	352	備考欄参照	参加企業193社	学術賞受賞講演1, 技術賞受賞講演1, 一般講演16, 奨励賞対象講演14, パネル口演37
22	粉砕の高度利用研究会 第1回(第9回機能性粉体プロセス研究会)	1.23	東北大学多元物質科学研究所(宮城)	10	2		東北談話会と共催
23	粉砕の高度利用研究会 第2回(第10回機能性粉体プロセス研究会)	4.19	東北大学多元物質科学研究所(宮城)	13	2	見学1	東北談話会と共催
24	粉砕の高度利用研究会 第3回(第11回機能性粉体プロセス研究会)	6.20	東北大学多元物質科学研究所(宮城)	13	2	見学1	東北談話会と共催
25	粉砕の高度利用研究会 第4回(第12回機能性粉体プロセス研究会)	8.24	東北大学多元物質科学研究所(宮城)	8	2	見学1	東北談話会と共催
26	粉砕の高度利用研究会 第5回(第13回機能性粉体プロセス研究会)	10.27	東北大学多元物質科学研究所(宮城)	10	1	見学1	主催: 粉砕の高度利用研究会 共催: 東北談話会, グリーンプロセス研究会公益社団法人化学工学会粒子・流体プロセス部会粉体プロセス分科会
27	2023年度第1回計算粉体力学研究会	12.26	大阪大学中ノ島センター(大阪)	19	3		
28	2023年度集塵技術の多機能化研究会 第1回講演会	3.1	TKP 京都四条駅前(京都)	35	3		
29	2023年度集塵技術の多機能化研究会 第2回講演・見学会	9.5	ENボード株式会社(静岡)	26	2	見学1	
30	2023年度第1回粉体材料設計研究会先端材料に関するワークショップ	2.17	横浜国立大学(神奈川) ハイブリッド開催	35	2		横浜国立大学『先進セラミックス創造研究拠点』と共催
31	2023年度第2回粉体材料設計研究会『粉体と芸術の新たな連携』	5.19	横浜国立大学附属図書館メディアホール(神奈川)	33	3	見学1	
32	2023年度第1回粉体の機械的単位操作に関する討論会・見学会	6.6	京都大学大学院松坂研究室(京都)	20	2	見学1	
33	2023年度第2回粉体の機械的単位操作に関する討論会・見学会	11.28	東京農工大学(東京)	17	2	見学2	

34	2023年度第1回粉体グリーンプロセス研究会	11.6	姫路駅前じばさんびる(兵庫)	8	2		
35	2023年度第2回粉体グリーンプロセス研究会	12.27	兵庫県立大学姫路工学キャンパス(兵庫)	18	1	見学1	
36	2023年度第1回ソフト粒子・界面研究会	11.15	同志社大学今出川キャンパス(京都)	7	2		
37	省エネルギーに貢献する粒子設計・粉体プロセスの業工連携研究会 2023年度若手研究者討論会	9.20	入鹿の里 MUSICA(愛知)	30	11		
38	省エネルギーに貢献する粒子設計・粉体プロセスの業工連携研究会 2023年度講演会	10.6	名古屋大学 VBLベンチャーホール(愛知)	40	2		
39	2023年度第1回・第2回粉体操作に伴う諸現象に関する勉強会 通称:夏の若手勉強会	7.27-29	鳴子温泉郷中山平温泉 仙庄館(宮城)	40	8	口頭発表7ポスター発表11	依頼8件
40	医薬品共結晶のモニタリングおよび粒子設計ワークショップ第1回研究会	9.8	小樽市民センター(北海道)	23	5		
41	電池製造プロセスに関するワークショップ全固体電池研究セミナー「リチウムイオン二次電池の研究開発動向と将来展望-正極材料を中心に-	10.13	I-site なんば(大阪)ハイブリッド開催	約100			大阪公立大学全固体電池研究所と共催
42	電池製造プロセスに関するワークショップ全固体電池研究セミナー「低炭素社会貢献に向けたMOF電極材料の開発」	11.14	I-site なんば(大阪)ハイブリッド開催	約100			大阪公立大学全固体電池研究所と共催
43	電池製造プロセスに関するワークショップ全固体電池研究セミナー「リチウムイオン二次電池材料の合成を指向した粒子コーティング技術とその適用例」	12.8	大阪公立大学中百舌鳥キャンパス(大阪)ハイブリッド開催	約110			大阪公立大学全固体電池研究所と共催

4. 特別協賛・共催

44	国際粉体工業展大阪 2023	10.11-13	インテックス大阪(大阪)	7,757			出展社数 172社・団体 小間数 515小間
45	第60回粉体に関する討論会	11.8-10	東京ガーデンパレス(東京)	66	招待5 一般37	見学1	

5. 共催・協賛・後援

46	第61回セラミックス基礎科学討論会	1.7, 8	岡山大学津島キャンパス(岡山)				日本セラミックス協会基礎部会
47	第40回コロイド・界面技術シンポジウム「界面化学が叶える、持続可能な社会～ミクロな一歩でマクロに貢献～」	1.26, 27	オンライン開催				日本化学会コロイドおよび界面化学部会
48	第35回CES21講演会「医療・医薬分野で活躍する化学工学」	1.27	大阪第一ホテル(大阪)ハイブリッド開催				化学工学会関西支部 CES21
49	化学工学会 材料・界面部会共通基盤技術シンポジウム 2023～材料・プロセス開発とその改善における機械学習の役割と今後の展望～	1.27	東京大学(東京)ハイブリッド開催				化学工学会 材料・界面部会
50	第40回無機材料に関する最近の研究発表会	1.27	住友会館(東京)				日本板硝子材料工学助成会
51	第16回シンポジウム「口腔内速崩壊錠等の現状と展望」	2.22	名城大学薬学部(愛知)				PLCM(耕業・Product Life Cycle Management)研究会

52	日本薬学会 物性 FG セミナー 2022 振動分光による原薬・製剤の物性評価	3.3	星薬科大学百年記念館 (東京) ハイブリッド開催			日本薬学会
53	コロイド先端技術講座 2022 ソフトマターの「液液」相分離	3.16	日本大学理工学部 駿河台校舎タワー・スコラ (東京)			日本化学会 コロイドおよび界面化学部会
54	2022 年度 第 3 回晶析分科会	3.17	同志社大学 東京オフィス (東京)			日本粉体工業技術協会 晶析分科会
55	表面科学セミナー 2023 (実践編)	3.20	大田区産業プラザ Pio 特別会議室 (東京)			日本表面真空学会
56	「石が絵具に! ? 手作り岩絵具教室」	3.26	京エコロジーセンター (京都)			京都市, NPO 法人富士山からはじまる天然顔料と粉砕の研究會
57	混相流国際会議 2023	4.2-7	神戸国際会議場 (兵庫)			日本混相流学会
58	第 40 回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会	4.18, 19	早稲田大学国際会議場 (東京)			日本空気清浄協会
59	第 39 回現代コロイド・界面化学基礎講座 (東京会場)	6.1, 2	同志社大学 東京オフィス (東京)			日本化学会コロイドおよび界面化学部会
60	第 75 回表面科学基礎講座～表面・界面分析の基礎と応用～	6.1-30	オンライン開催			日本表面真空学会
61	粒子・流体プロセス技術コース 2023 (第 37 回流動層技術コース)	6.1-7.31	各サテライト実習実施機関			化学工学会粒子・流体プロセス部会流動層分科会
62	粉体入門セミナー I (第 68 回) 「粉体とは何だろうか? ~その性質と評価~」	6.7, 8	アーバンネット 神田カンファレンス 2A (東京)			日本粉体工業技術協会
63	熱測定オンライン講習会 2023 第 1 回 熱分析基礎講座	6.15	オンライン開催			日本熱測定学会
64	第 39 回現代コロイド・界面化学基礎講座 (大阪会場)	6.15, 16	大阪科学技術センター (大阪)			日本化学会コロイドおよび界面化学部会
65	2023 年度 静電気学会講習会 最新! 空気清浄の全て ~原理と応用, 集塵脱臭, 感染対策など~	6.16	オンライン開催			静電気学会
66	粉体入門セミナー II (第 69 回) 「粉をつくり, そして利用するために」	6.20, 21	アーバンネット 神田カンファレンス 2A (東京)			日本粉体工業技術協会
67	粉体入門セミナー III (第 70 回) 「粉をあやつる」	7.5, 6	アーバンネット 神田カンファレンス 2A (東京)			日本粉体工業技術協会
68	第 20 回技術講演会	7.12, 13	品川インターシティ (東京)			新製剤技術とエンジニアリングを考える会
69	17 回関西支部学術講演会	7.14	近畿大学 東大阪キャンパス 11 月ホール (大阪)			日本セラミックス協会関西支部
70	熱測定オンライン講習会 2023 第 3 回 食品	7.14	オンライン開催			日本熱測定学会
71	触媒学会 第 34 回キャタリシススクール	7.19-21	東京大学浅野キャンパス (東京) ハイブリッド開催			触媒学会
72	第 33 回環境工学総合シンポジウム 2023	7.25	くにびきメッセ (鳥根)			日本機械学会
73	環境工学国際ワークショップ 2023 (IWEE2023)	7.25-28	くにびきメッセ (鳥根)			日本機械学会
74	熱測定オンライン講習会 2023 第 4 回 金属・無機材料	7.28	オンライン開催			日本熱測定学会
75	第 41 回 関西界面科学セミナー	7.29	奈良女子大学 (奈良)			日本化学会コロイドおよび界面化学部会関西支部

76	2023年度 静電気学会講習会「半導体デバイスの静電気対策(応用編)」	8.3	オンライン開催			静電気学会
77	表面分析実践講座2023 実践!最新走査電子顕微鏡実習 実際の作業を通して身につける最新技術	8.9, 10	日本電子 開発館(東京)			日本表面真空学会
78	第72回粉体技術専門講座～晶析操作に関わる先端技術～	8.23, 24	日本大学 生産工学部 津田沼キャンパス(千葉)			日本粉体工業技術協会
79	混相流シンポジウム2023	8.24-26	北海道大学札幌キャンパス(北海道)			日本混相流学会
80	Sintering2023	8.27-31	長良川国際会議場(岐阜)			日本セラミックス協会エンジニアリングセラミックス部会
81	第40回エアロゾル科学・技術研究討論会	8.30-9.1	美喜仁桐生文化会館(群馬)			日本エアロゾル学会
82	第7回ソフトマター国際会議	9.4-8	グランキューブ大阪(大阪)			ソフトマター研究会
83	日本セラミックス協会 第36回秋季シンポジウム	9.6-8	京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス(京都) ハイブリッド開催			日本セラミックス協会
84	第47回静電気学会全国大会	9.11-13	山形テルサ(山形) ハイブリッド開催			静電気学会
85	第74回コロイドおよび界面科学討論会	9.12-15	信州大学長野(工学)キャンパス(長野) ハイブリッド開催			日本化学会コロイドおよび界面化学部会
86	ASCC 2023 (Asian Symposium on Contamination Control)	9.20-22	金沢東急ホテル(石川)			日本空気清浄協会
87	SPring-8 シンポジウム2023 -SPring-8/SACLAとデータ科学の融合が生み出す可能性-	9.26, 27	大阪大学(大阪) ハイブリッド開催			SPring-8 シンポジウム2023 事務局
88	第6回PLCM(耕業)実習講習会「識る・観る・触るOD錠技術!」	9.28, 29	フロイント産業(株)技術開発研究所(静岡)			PLCM(耕業)研究会
89	第42回農薬製剤・施用法シンポジウム	9.28, 29	なら100年会館(奈良)			日本農薬学会 農薬製剤・施用法研究会
90	大阪公立大学全固体電池研究セミナー	10.13	大阪公立大学 I-site なんば(大阪)			大阪公立大学全固体電池研究所(学術共同研究拠点事務局)
91	2023年度日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会講演会「世界に誇る日本のセラミックス焼結体技術」	10.18	東京都立産業技術研究センター本部 イノベーションハブ(東京)			日本セラミックス協会・(地独)東京都立産業技術研究センター
92	第76回表面科学基礎講座～表面・界面分析の基礎と応用～	11.1-30	オンライン開催			日本表面真空学会
93	第44回日本熱物性シンポジウム	11.7-9	日本大学 生産工学部 津田沼キャンパス(千葉)			日本熱物性学会
94	第2回大阪公立大学全固体電池研究セミナー	11.14	大阪公立大学 I-site なんば(大阪) ハイブリッド開催			大阪公立大学研究推進機構全固体電池研究所
95	第32回微粒化シンポジウム	11.27, 28	同志社大学今出川校(京都)			日本液体微粒化学会・日本エネルギー学会
96	第54回エンジニアリングセラミックスセミナー	12.1	東京大学浅野キャンパス武田先端知ビル武田ホール(東京)			日本セラミックス協会 エンジニアリングセラミックス部会
97	第18回若手シンポジウム～材料分野の仕事と研究の魅力～	12.4	同志社大学 大阪サテライトキャンパス(大阪)			日本材料学会関西支部

98	Salt & Seawater Science Seminar 2023 母なる海の恵み～海水からのもづくり～	12.7	塩事業センター 海水総合研究所 (神奈川)			塩事業センター 海水総合研究所
99	第3回 大阪公立大学全固体電池研究セミナー	12.8	大阪公立大学 中 百舌鳥キャンパス (大阪) ハイブリッド開催			大阪公立大学全固体電池研究所

II 刊 行 物

			総 頁
1.	粉体工学会誌 第60巻, 1号～12号	A4判	787頁
2.	Advanced Powder Technology Vol.34, No.1～No.12	A4判	全12巻
3.	2023年度春期研究発表会講演要旨集	B5判	115頁
4.	第57回技術討論会講演要旨集	B5判	89頁
5.	第58夏期シンポジウム講演要旨集	PDF判	33頁
6.	2023年度秋期研究発表会講演要旨集	A4判	182頁

(2) 2023年度 庶務事項報告

1) 2023年度 定時社員総会

日 時：3月25日(土)
場 所：京都経済センター
出席者：280名(出席者24名, 委任状256名)
議 題：
[決議事項]
第1号議案 2022年度事業報告および庶務事項報告案
第2号議案 2022年度会計決算報告案
第3号議案 名誉会員推薦の件
第4号議案 理事・監事候補者選任の件
[報告事項]
報告事項1 2023年度事業計画案
報告事項2 2023年度会計予算案

2) 理事会

第1回

日 時：2月11日(土)
場 所：オンライン
出席者：28名
議 題：
[報告事項]
報告事項1 2022年度第4回理事会議事録の確認
報告事項2 代表理事の職務の執行状況の定期報告
報告事項3 2023年度行事報告・行事・本部行事予定
報告事項4 2023年度春期研究発表会・イブニングセミナーについて
報告事項5 第58回夏期シンポジウムの準備状況
報告事項6 第57回技術討論会の準備状況
報告事項7 各種委員会報告
報告事項8 地方談話会・部会・研究会・ワークショップ

ブ関係報告

報告事項9 会員数, 会費納入状況の件
[審議事項]
第1号議案 各種行事関係
第2号議案 各種委員会関係
第3号議案 名誉会員推薦の件
第4号議案 2023-2024年度理事・監事候補者選任の件
第5号議案 2023-2024年度各種委員会正副委員長候補者選任の件
第6号議案 2023年度定時社員総会招集の件
第7号議案 会員数, 会費納入の件

第2回

日 時：3月25日(土)
場 所：京都経済センター およびオンライン
出席者：31名
議 題：
[報告事項]
報告事項1 2023年度第1回理事会議事録の確認
報告事項2 代表理事の職務の執行状況の定期報告
報告事項3 2023年度行事報告・行事予定・本部行事
報告事項4 2022年度春期研究発表会・イブニングセミナー等について
報告事項5 第57回技術討論会の準備状況
報告事項6 第58回夏期シンポジウムの準備状況
報告事項7 2023年度秋期研究発表会の準備状況
報告事項8 各種委員会報告事項
報告事項9 地方談話会・部会・研究会・ワークショップ
ブ関係報告
報告事項10 会員数, 会費納入状況の件

[審議事項]

- 第1号議案 代表理事（会長）選任の件
- 第2号議案 副会長等選任の件
- 第3号議案 評議員選任の件
- 第4号議案 各種委員会委員選任の件
- 第5号議案 各種行事関係
- 第6号議案 各種委員会関係
- 第7号議案 WCPT10 対応委員会設置の件
- 第8号議案 委員長連絡会議設置の件
- 第9号議案 入会会員承認の件

第3回

日 時：9月2日（土）

場 所：オンライン

出席者：24名

議 題：

[報告事項]

- 報告事項1 2023年度第2回理事会議事録の確認
- 報告事項2 代表理事の職務の執行状況の定期報告
- 報告事項3 2023年度行事報告並びに予定報告
- 報告事項4 2023年度粉体塾準備状況
- 報告事項5 2023年度秋期研究発表会準備状況
- 報告事項6 2023年度本部行事日程
- 報告事項7 第58回夏期シンポジウム進捗状況
- 報告事項8 2024年度春期研究発表会開催案
- 報告事項9 国際シンポジウム進捗状況
- 報告事項10 各種委員会報告
- 報告事項11 学会HPの更新
- 報告事項12 2023年度会計状況
- 報告事項13 地方談話会・部会・研究会・ワークショップ関係報告
- 報告事項14 会員数、会費納入状況の件
- 報告事項15 その他（後藤代表理事）

[審議事項]

- 第1号議案 各種行事関係
- 第2号議案 各種委員会関係
- 第3号議案 会員入会承認
- 第4号議案 その他

第4回

日 時：12月9日（土）

場 所：京都経済センターおよびオンライン

出席者：31名

議 題：

[報告事項]

- 報告事項1 第3回理事会議事録の確認
- 報告事項2 代表理事職務執行状況の定期報告
- 報告事項3 第2回評議員会開催報告
- 報告事項4 2023年度行事開催結果・予定報告
- 報告事項5 2024年度行事予定
- 報告事項6 2024年度春期研究発表会・イブニングセミナー、ランチョンセミナー等について
- 報告事項7 第58回技術討論会の準備状況

報告事項8 第59回夏期シンポジウムの準備状況

報告事項9 各種委員会報告

報告事項10 地方談話会・部会・研究会・ワークショップ関係報告

報告事項11 会員数、会費納入状況の件、並びに会員拡大活動状況報告

報告事項12 2023年度一般会計決算予測

報告事項13 2024年度学会誌広告掲載の状況報告

[審議事項]

- 第1号議案 各種行事関係
- 第2号議案 各種委員会関係
- 第3号議案 2024年度事業計画案について
- 第4号議案 2024年度一般会計予算案について
- 第5号議案 名誉会員推薦委員会委員選任の件
- 第6号議案 その他以上

3) 評議員会

第1回

日 時：6月10日（土）

場 所：オンライン

出席者：51名

議 題：1. 評議員会について

2. 粉体工学会主要行事について

3. 2023年度行事報告・予定、本部行事日程について

4. 技術討論会、夏期シンポジウム、秋期研究発表会について

5. WCPT10 主催について

6. その他（全般的意見交換他）

第2回

日 時：11月3日（金）

場 所：オンライン

出席者：39名

議 題：1. 2023年度行事報告・予定、本部行事日程について

2. 2024年度本部行事日程について

3. その他

4) 編集委員会

和文誌・英文誌編集委員会 第1回

日 時：3月4日（土）

場 所：京都経済センターおよびオンライン

出席者：20名

和文誌議題 1. 第60巻1号～3号の割付、第4号～6号の仮割付、保管原稿の確認

2. 依頼原稿、特集号について

3. 報告、審議事項、その他

英文誌議題 1. 審査・編集状況定期報告

2. 今後の英文誌編集委員会について

3. APT 賞選考方法の審議

4. E アンケート意見情報交換会 #4 の報告

- とカテゴリー制実施案について
5. 周知事項, その他

和文誌編集委員会 第2回

日 時: 7月22日(土)
場 所: 事務局およびオンライン
出席者: 22名

- 和文誌議題 1. 第60巻4号~8号の割付, 第60巻9号~12号の仮割付, 保管原稿の確認
2. 依頼原稿, 特集号について
3. 報告, 審議事項, その他

和文誌編集委員会 第3回

日 時: 11月18日(土)
場 所: 事務局およびオンライン
出席者: 17名

- 和文誌議題 1. 第60巻9号~12号の割付, 第61巻1号~3号の仮割付, 保管原稿の確認
2. 依頼原稿, 特集号について
3. 報告, 審議事項, その他

英文誌編集委員会 第2回

日 時: 11月13日(月)
場 所: オンライン
出席者: 17名

- 英文誌議題 1. 審査・編集状況定期報告
2. 今後の英文誌編集委員会について
3. 委員会制からカテゴリー制への移行について
4. インセンティブ支給について
5. 周知事項, その他

5) 企画委員会

第1回

日 時: 2月4日(土)
場 所: オンライン
出席者: 11名

- 議 題: 1. 2023年度春期研究発表会の準備状況
2. イブニングセミナー準備状況
3. 2023年度夏期シンポジウムの準備状況について
4. 2023年度技術討論会の準備状況について
5. 2023年度秋期研究発表会について

第2回

日 時: 3月18日(土)
場 所: オンライン
出席者: 13名

- 議 題: 1. 2023年度春期研究発表会の準備状況
2. 2023年度夏期シンポジウムの準備状況について
3. 2023年度技術討論会の準備状況について

4. 2023年度秋期研究発表会について
5. 2024年技術討論会のテーマと担当者について
6. 2024年度夏期シンポジウムのテーマと担当者について
7. その他

第3回

日 時: 8月26日(土)
場 所: オンライン
出席者: 11名

- 議 題: 1. 2023年度秋期研究発表会(大阪)について
2. 第58回技術討論会について
3. 第59回夏期シンポジウムについて
4. 2024年度春期研究発表会について
5. 研究会, ワークショップ募集について
6. その他

第4回

日 時: 11月25日(土)
場 所: オンライン
出席者: 14名

- 議 題: 1. 2024年度春期研究発表会の準備状況について
2. 第59回夏期シンポジウムについて
3. 第58回技術討論会の準備状況について
4. 2024年度部会・研究会・地方談話会・WS活動計画案の検討
5. その他

6) 2023年度会計監査

日 時: 2023年1月27日(金)
場 所: 事務局会議室 オンライン併用
出席者: 6名

会 員 数

2023年度末	
会員種別	会員数
維持会員	18
賛助会員	69
事業所会員	235
個人会員	381
学生会員	106
図書館会員	21
名誉会員	84
外国在住個人会員	0
計	914

2023 年度一般会計予算対比正味財産増減計算書

(2023 年 1 月 1 日より 12 月 31 日まで)

経常収入の部

(単位：円)

科目	細目	予算	決算
会費	(小計 a)	24,566,800	22,786,440
	維持会員	1,680,000	1,440,000
	賛助会員	5,180,000	4,900,000
	事業所会員	12,850,000	12,050,000
	個人会員	4,150,000	3,800,000
	学生会員	450,000	405,000
	図書館会員	151,800	121,440
	過年度	55,000	70,000
	その他	50,000	0
行事	(小計 b)	21,320,000	29,512,048
例会	春期研究発表会	1,650,000	820,000
	秋期研究発表会	2,000,000	1,563,000
	技術討論会	950,000	1,491,000
	夏期シンポジウム	800,000	319,000
	ISPT2	0	1,000,000
行事企画	粉体塾	0	0
地方談話会	北海道談話会	30,000	0
	東北談話会	0	1,050,000
	関東談話会	0	0
	中部談話会	0	577,000
	西日本談話会	0	0
部会・研究会 ・WS 独自予算	製剤と粒子設計部会	15,800,000	22,377,032
	粉砕の高度利用研究会	0	130,000
	計算粉体力学研究会	0	0
	集塵技術の多機能化研究会	20,000	0
	粉体材料設計研究会	0	0
	機械的単位操作に関する産学連携研究会	0	69,015
	粉体グリーンプロセス研究会	70,000	50,001
	ソフト粒子・界面研究会	0	0
	粉体操作に伴う諸現象に関する勉強会	0	30,000
	注 1) 薬工連携研究会	0	36,000
	注 2) 共結晶のモニタリングおよび粒子設計 WS	0	0
2023 年度新設	電池製造プロセスに関する WS	0	0
寄付金収入	(小計 c)	800,000	900,000
	研究会への補助他	800,000	900,000
雑収入	(小計 d)	18,759,873	19,706,796
	預金利息	0	0
	論文掲載料	1,400,000	1,565,000
	別刷代	700,000	456,200
	論文賞等への補助金	50,000	100,000
	協会報告会誌掲載料	1,200,000	1,248,000
	会誌広告掲載料	2,700,000	2,681,280
	粉体工業展協力費	1,500,000	1,500,000
	著作権	9,000,000	10,274,115
	図書	400,000	461,790
	印税	9,873	8,745
	その他	1,000,000	696,666
	用語辞典バナー掲載料	800,000	715,000
科研費	(小計 e)	0	0
為替差益	(小計 f)	0	0
他会計からの繰り入れ	(小計 g)	9,800,000	0
経常収入計	(a+b+c+d+e+f+g)	75,246,673	72,905,284
経常外収入		0	0
当期収入計		75,246,673	72,905,284

経常支出の部

科目	細目	予算	決算
行事支出	(小計 a)	23,610,000	27,221,119
例会	春期研究発表会	1,300,000	687,029
	秋期研究発表会	1,650,000	1,727,425
	技術討論会	800,000	858,773
	夏期シンポジウム	600,000	338,019
	ISPT2	0	757,528
企画行事	粉体塾	100,000	134,194
地方談話会	北海道談話会	100,000	20,605
	東北談話会	100,000	59,000
	関東談話会	100,000	1,148,751
	中部談話会	100,000	636,817
	西日本談話会	100,000	0

科目	細目	予算	決算
部会・研究会 ・WS	製剤と粒子設計部会	16,100,000	18,725,551
	粉砕の高度利用研究会	150,000	244,349
	計算粉体力学研究会	150,000	93,311
	集塵技術の多機能化研究会	140,000	80,630
	粉体材料設計研究会	150,000	47,595
	機械的単位操作に関する産学連携研究会	550,000	413,838
	粉体グリーンプロセス研究会	220,000	140,523
	ソフト粒子・界面研究会	150,000	66,484
	粉体操作に伴う諸現象に関する勉強会	700,000	759,996
	注 1) 薬工連携研究会	150,000	157,440
	注 2) 共結晶のモニタリングおよび粒子設計 WS	100,000	98,011
2023 年度新設	電池製造プロセスに関する WS	100,000	25,250
会誌資料発行費	(小計 b)	9,950,000	9,911,334
	印刷補助	7,300,000	7,218,696
	原稿料	800,000	958,270
	発送	1,600,000	1,503,368
	和文誌 J-STAGE 電子データ掲載	250,000	231,000
委員会費	(小計 c)	9,865,000	4,571,725
	評議員会	100,000	0
	理事会	1,100,000	1,147,603
	和文誌編集委員会	550,000	624,688
	英文誌編集委員会	5,795,000	2,388,344
	国際交流委員会	40,000	0
	広報委員会	40,000	0
	出版委員会	640,000	0
	ダイバーシティ委員会	120,000	0
	WCPT 準備委員会	1,000,000	0
	その他の委員会	480,000	411,090
事務局費	(小計 d)	29,529,200	24,916,586
	給料	13,880,000	11,279,791
	通勤交通費	640,000	399,980
	福利厚生	250,000	168,990
	法定福利	1,550,000	1,478,632
	通信費	600,000	516,456
	旅費交通費	50,000	4,060
	備品・消耗品費	1,500,000	1,227,714
	リース料	151,200	148,700
	借室料	2,800,000	2,798,388
	光熱水道料	400,000	405,551
	HP リニューアル関連費用	3,100,000	1,813,325
	振込手数料, web 手数料, 保守料金他		692,817
	用語辞典 WEB 化費用	200,000	0
	英文誌補助作業料	550,000	303,300
	HP 管理等費用	350,000	314,600
	税理士顧問料等	1,067,000	1,067,000
	社労士顧問料等	300,000	269,500
	PAC 会計ソフト使用料	280,000	273,350
	公租公課	90,000	80,600
	消費税	1,421,000	1,420,400
	雑費	350,000	253,432
科研費	(小計 e)	1,726,473	1,730,027
寄付金支出	(小計 f)	0	10,000
名簿発行費	(小計 g)	0	0
論文賞等費	(小計 h)	500,000	491,388
粉体技術掲載料	(小計 i)	66,000	66,000
他会計への繰り入れ	(小計 j)	0	3,024
経常支出計	(a+b+c+d+e+f+g+h+i+j)	75,246,673	68,921,203
経常外支出		0	0
当期支出計		75,246,673	68,921,203
当期収支差		0	3,984,081

注 1) 正式名称 省エネルギーに貢献する粒子設計・粉体プロセスの薬工連携研究会
 注 2) 正式名称 医薬品共結晶の晶析モニタリングおよび粒子設計 WS

貸借対照表
2023年12月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	127,659,067	129,330,734	▲ 1,671,667
前払金	4,618,350	0	4,618,350
談話会	161,827	316,426	▲ 154,599
部会・研究会	1,110,353	1,413,668	▲ 303,315
短期貸付金	2,400,000	2,400,000	0
仮払金	326,260		326,260
流動資産合計	136,275,857	133,460,828	2,815,029
2. 固定資産			
(3) その他固定資産			
保証金	4,274,250	4,274,250	0
その他固定資産合計	4,274,250	4,274,250	0
固定資産合計	4,274,250	4,274,250	0
資 産 合 計	140,550,107	137,735,078	2,815,029
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	10,000	▲ 10,000
前受金	60,000	85,000	▲ 25,000
前受会費	15,855,000	16,910,120	▲ 1,055,120
預り金	269,503	346,542	▲ 77,039
流動負債合計	16,184,503	17,351,662	▲ 1,167,159
2. 固定負債			
借室勘定引当金	4,274,250	4,274,250	0
固定負債合計	4,274,250	4,274,250	0
負債合計	20,458,753	21,625,912	▲ 1,167,159
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	120,091,354	116,109,166	3,982,188
正味財産合計	120,091,354	116,109,166	3,982,188
負債及び正味財産合計	140,550,107	137,735,078	2,815,029

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

①固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法による。

無形固定資産・・・定額法による。

②消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 重要な会計方針の変更

なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
事務局整備準備金	28,860,099	91	0	28,860,190
退職積立金	4,807,125	51	0	4,807,176
国際会議準備金	20,039,173	186	4,619,560	15,419,799
特別事業基金	10,160,393	77	550	10,159,920
部会等特別行事準備金	1,460,945	12	550	1,460,407
小 計	65,327,735	417	4,620,660	60,707,492
合 計	65,327,735	417	4,620,660	60,707,492

4. 担保にしている資産

なし

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
	0	0	0
合計	0	0	0

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

なし

7. 担保債務等の偶発債務

なし

8. 関連当事者との取引の内容

なし

9. 重要な後発事象

なし

10. その他

流動資産

立替金の内訳 0

1) 短期貸付金の内訳 製剤と粒子設計部会 2,400,000

合計 2,400,000

流動負債

1) 前受会費の内訳

会費	維持会員	2024 年度	1,040,000
	賛助会員	〃	3,570,000
	事業所会員	〃	8,950,000
	個人会員	〃	2,260,000
	学生会員	〃	35,000
合計			15,855,000

2) 眼受け金内訳 図書購入費 60,000

名誉会員 60,000

合計

3) 預り金の内訳

従業員	社会保険料		218,955
源泉税	報酬		4,548
英文誌購読料			46,000
合計			269,503

監 査 報 告

下記2名は粉体工学会の、自2023年1月1日至2023年12月31日事業年度の決算の監査を実施しました。

当該期間中の帳簿、伝票、その他関係書類を調査し、いずれも正確に記録処理されているものと認めました。また、これらの帳簿から作成された正味財産増減計算書、貸借対照表は、当該期間中の収支の状況、期末の財産有高を適正に表示しているものと認めました。

以上により、別紙決算書は適正であることを報告いたします。

2024年1月31日

一般社団法人粉体工学会

監 事 内藤 牧男 ㊞
井須 紀文 ㊞

第3号議案

名誉会員推薦の件

番号	氏名
1	山田 昌治
2	竹内 洋文
3	下坂 厚子
4	湯浅 宏
5	寺田 勝英
6	谷本 友秀

入会順以上6名

2024 年度事業計画

I 行事予定

行事名	日程	会場	備考
本部行事			
2024 年度定時社員総会	3.23	京都経済センター（京都）	
2024 年度春期研究発表会	5.14, 15	姫路じばさんビル（兵庫）	
2024 年度粉体工学イブニングセミナー	5.14	姫路じばさんビル（兵庫）	
ランチョンセミナー	5.15	姫路じばさんビル（兵庫）	
第 58 回技術討論会	7.25, 26	名古屋工業大学（愛知）	
第 59 回夏期シンポジウム	未定	未定	
2024 年度秋期研究発表会	11.26, 27	東京ビッグサイト（東京）	国際粉工展東京と同時開催
第 7 回粉体塾	未定	未定	
地方行事			
北海道談話会 東北談話会 関東談話会 中部談話会 西日本談話会			各談話会は年に 2 回、開催予定。日時、場所等の詳細が決まり次第、会誌の会告欄および学会 HP に案内を掲載。

行事名	備考
部会・研究会・勉強会・ワークショップ	
製剤と粒子設計部会 粉砕の高度利用研究会 粉体プロセスデジタルツイン研究会 集塵技術の多機能化研究会 粉体材料設計研究会 機械的単位操作に関する産学連携研究会 粉体グリーンプロセス研究会 ソフト粒子・界面研究会 省エネルギーに貢献する粒子設計・粉体プロセスの薬工連携研究会 粉体操作に伴う諸現象に関する勉強会 医薬品共結晶の晶析モニタリングおよび粒子設計 WS 電池製造プロセスに関する WS	部会は年に 3 回、各研究会、勉強会およびワークショップ（WS）は年に 2～3 回、開催予定。日時、場所等の詳細が決まり次第、会誌の会告欄および学会 HP に案内を掲載。
特別協賛行事	
POWTEX2024（第 25 回国際粉体工業展東京）	（一社）日本粉体工業技術協会が主催。 11.27-29 東京ビッグサイト（東京）
その他の共催・協賛・後援行事	
（一社）日本粉体工業技術協会、日本エアロゾル学会等の国内外の関連学協会の行事への共催・協賛・後援。	

II 刊行物

- 1) 粉体工学会誌 第 61 巻, 1 号～12 号
- 2) Advanced Powder Technology Vol.35 No.1～No.12
- 3) 2024 年度春期研究発表会講演要旨集
- 4) 第 58 回技術討論会講演要旨集
- 5) 第 59 回夏期シンポジウム講演要旨集
- 6) 2024 年度秋期研究発表会講演要旨集

2024 年度一般会計予算
(2024 年 1 月 1 日より 12 月 31 日まで)

経常収入の部		(単位：円)	
科目	細目	2024 年度予算	前年実績
会費	(小計 a)	24,566,800	22,786,440
	維持会員	1,680,000	1,440,000
	賛助会員	5,180,000	4,900,000
	事業所会員	12,850,000	12,050,000
	個人会員	4,150,000	3,800,000
	学生会員	450,000	405,000
	図書館会員	151,800	121,440
	過年度	55,000	70,000
	その他	50,000	0
行事	(小計 b)	18,160,000	29,512,048
例会	春期研究発表会	950,000	820,000
	秋期研究発表会	1,700,000	1,563,000
	技術討論会	950,000	1,491,000
	夏期シンポジウム	800,000	319,000
	ISPPT2	0	1,000,000
行事企画	粉体塾	100,000	0
地方談話会	北海道談話会	0	0
	東北談話会	0	1,050,000
	関東談話会	200,000	0
	中部談話会	0	577,000
	西日本談話会	0	0
部会・研究会 ・WS 独自予算	製剤と粒子設計部会	13,000,000	22,377,032
	粉砕の高度利用研究会	0	130,000
	粉体プロセスデジタルツイン研究会	0	0
	集塵技術の多機能化研究会	10,000	0
	粉体材料設計研究会	0	0
	機械的単位操作に関する産学連携研究会	80,000	69,015
	粉体グリーンプロセス研究会	70,000	50,001
	ソフト粒子・界面研究会	0	0
	粉体操作に伴う諸現象に関する勉強会	300,000	30,000
	注 1) 薬工連携研究会	0	36,000
	注 2) 共結晶のモニタリングおよび粒子設計 WS	0	0
2023 年度新設	電池製造プロセスに関する WS	0	0
寄付金収入	(小計 c)	800,000	900,000
	研究会への補助他	800,000	900,000
雑収入	(小計 d)	25,608,660	19,706,796
	預金利息	0	0
	論文掲載料	1,400,000	1,565,000
	別刷代	700,000	456,200
	論文賞等への補助金	50,000	100,000
	協会報告会誌掲載料	1,200,000	1,248,000
	会誌広告掲載料	2,700,000	2,681,280
	粉体工業展協力費	2,000,000	1,500,000
	著作権	15,345,183	10,274,115
	図書	400,000	461,790
	印税	9,873	8,745
	その他	1,003,604	696,666
	用語辞典バナー掲載料	800,000	715,000
科研費	(小計 e)	0	0
為替差益	(小計 f)	0	0
他会計からの繰り入れ	(小計 g)	4,511,481	0
経常収入計	(a+b+c+d+e+f+g)	73,646,941	72,905,284
経常外収入		0	0
当期収入計		73,646,941	72,905,284

経常支出の部		決算	
科目	細目	2024 年度予算	決算
行事支出	(小計 a)	21,100,000	27,221,119
例会	春期研究発表会	1,300,000	687,029
	秋期研究発表会	1,650,000	1,727,425
	技術討論会	800,000	858,773
	夏期シンポジウム	600,000	338,019
	ISPPT2	0	757,528
企画行事	粉体塾	100,000	134,194
地方談話会	北海道談話会	100,000	20,605
	東北談話会	100,000	59,000
	関東談話会	300,000	1,148,751
	中部談話会	100,000	636,817
	西日本談話会	100,000	0

科目	細目	2024 年度予算	前年実績
部会・研究会 ・WS	製剤と粒子設計部会	13,000,000	18,725,551
	粉砕の高度利用研究会	150,000	244,349
	粉体プロセスデジタルツイン研究会	150,000	93,311
	集塵技術の多機能化研究会	140,000	80,630
	粉体材料設計研究会	150,000	47,595
	機械的単位操作に関する産学連携研究会	640,000	413,838
	粉体グリーンプロセス研究会	220,000	140,523
	ソフト粒子・界面研究会	150,000	66,484
	粉体操作に伴う諸現象に関する勉強会	1,000,000	759,996
	注 1) 薬工連携研究会	150,000	157,440
	注 2) 共結晶のモニタリングおよび粒子設計 WS	100,000	98,011
2023 年度新設	電池製造プロセスに関する WS	100,000	25,250
会誌資料発行費	(小計 b)	9,950,000	9,911,334
	印刷補助	7,300,000	7,218,696
	原稿料	800,000	958,270
	発送	1,600,000	1,503,368
	和文誌 J-STAGE 電子データ登載	250,000	231,000
委員会費	(小計 c)	10,225,000	4,571,725
	評議員会	100,000	0
	理事会	1,100,000	1,147,603
	和文誌編集委員会	550,000	624,688
	英文誌編集委員会	5,495,000	2,388,344
	国際交流委員会	700,000	0
	広報委員会	40,000	0
	出版委員会	640,000	0
	ダイバーシティ委員会	120,000	0
	WCPT 準備委員会	1,000,000	0
	その他の委員会	480,000	411,090
事務局費	(小計 d)	28,154,460	24,916,586
	給料	13,880,000	11,279,791
	通勤交通費	640,000	399,980
	福利厚生	250,000	168,990
	法定福利	1,550,000	1,478,632
	通信費	600,000	516,456
	旅費交通費	50,000	4,060
	備品・消耗品費	1,500,000	1,227,714
	リース料	151,200	148,700
	借室料	2,800,000	2,798,388
	光熱水道料	400,000	405,551
	HP リニューアル関連費用	3,100,000	1,813,325
	振込手数料, web 手数料, 保守料金他		692,817
支払手数料			
	用語辞典 WEB 化費用	200,000	0
	英文誌補助作業料	550,000	303,300
	HP 管理等費用	350,000	314,600
	税理士顧問料等	1,067,000	1,067,000
	社労士顧問料等	300,000	269,500
	PAC 会計ソフト使用料	326,260	273,350
	公租公課	90,000	80,600
	消費税	0	1,420,400
	雑費	350,000	253,432
科研費	(小計 e)	0	1,730,027
寄付金支出	(小計 f)	0	10,000
名簿発行費	(小計 g)	0	0
論文賞等費	(小計 h)	500,000	491,388
粉体技術掲載料	(小計 i)	66,000	66,000
他会計への繰り入れ	(小計 j)	3,651,481	3,024
経常支出計	(a+b+c+d+e+f+g+h+i+j)	73,646,941	68,921,203
経常外支出		0	0
当期支出計		73,646,941	68,921,203
当期収支差		0	3,984,081

注 1) 正式名称 省エネルギーに貢献する粒子設計・粉体プロセスの薬工連携研究会
注 2) 正式名称 医薬品共結晶の晶析モニタリングおよび粒子設計 WS

粉体工学会 行事予定

☆ 主催行事

開催期日	行 事	会 場	掲載巻・号
2024年			
5月14日(火) } 15日(水)	2024年度春期研究発表会【参加募集】	じばさんびる(兵庫)	61巻4号
5月14日(火)	2024年度 粉体工学イブニングセミナー 「エアロゾルの研究を振り返って」	じばさんびる(兵庫)	61巻1号
5月15日(水)	2024年度 ランチョンセミナー	じばさんびる(兵庫)	61巻1号
5月29日(水)	2024年度第1回粉体材料設計研究会 『粉体と芸術の連携を探る』	横浜国立大学附属図書館メディア ホール(神奈川)	本号
5月29日(水)	2024年度第1回粉体グリーンプロセス研究 会	兵庫県立大学(兵庫)	本号
6月18日(火)	第7回粉体塾－粉体工学の基礎の基礎－	京都経済センター会議室(京都) (ハイブリッド開催)	本号
7月25日(木) } 26日(金)	第58回技術討論会【講演ならびに出展募集】	名古屋工業大学(愛知)	61巻3号

☆ 特別協賛行事

開催期日	行 事	会 場	掲載巻・号・URL
2024年			
11月27日(水) } 29日(金)	POWTEX® 2024 (第25回国際粉体工業展東京)	東京ビッグサイト(東京)	https://www. powtex.com/tokyo/

☆ 共催, 協賛, 後援行事

開催期日	行 事	会 場	問合せ先	TEL (FAX) E-mail URL
2024年				
5月16日(木)	第357回 塑性加工シンポジ ウム 「スマート工場に向け たDX」	国立オリンピック 記念青少年総合セ ンター(東京)	日本塑性加工学 会	http://www.jstp.or.jp
5月24日(金)	第251回西山記念技術講座	CIVI研修センター 新大阪東 (大阪)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 educact@isij.or.jp
5月31日(金)	第252回西山記念技術講座	鉄鋼会館 会議室 (東京) (ハイブリッド開 催)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 educact@isij.or.jp
6月1日(土) } 7月31日(水)	粒子・流体プロセス技術コー ス2024(第38回流動層技術 コース)	各サテライト実習 実施機関(九州工 業大学, 新潟大学, 群馬大学)	化学工学会粒子 ・流体プロセス 部会流動層分科 会	0277-30-1456 yhayashi@gunma-u.ac.jp https://sites.google.com/site/ atwfbtc/home

6月13日(木) } 14日(金)	第40回現代コロイド・界面化学基礎講座 東京会場	同志社大学東京オフィス(東京)	日本化学会コロイドおよび界面化学部会	jigyokukaku_01@colloid.csj.jp https://colloid.csj.jp/202403/learning-40th-tokyo/
6月27日(木) } 28日(金)	第40回現代コロイド・界面化学基礎講座 大阪会場	大阪産業創造館(大阪)	日本化学会コロイドおよび界面化学部会	jigyokukaku_01@colloid.csj.jp https://colloid.csj.jp/202403/learning-40th-osaka/
7月17日(水) } 19日(金)	第34回環境工学総合シンポジウム2024	高野山大学(和歌山)	日本機械学会	03-4335-7615 hashiguchi@jsme.or.jp.jp
7月25日(木) } 26日(金)	日本結晶学会講習会「粉末X線解析の実際」	東京工業大学大岡山キャンパス(東京)	日本結晶学会	crsj-xray@conf.bunken.co.jp http://www.crsj.jp/
7月30日(火) } 31日(水)	第21回技術講演会	国立京都国際会館(京都)	新製剤技術とエンジニアリングを考える会	072-744-3331 (072-778-7314) info@sinseizai.com
8月20日(火) } 22日(木)	第41回エアロゾル科学・技術研究討論会	工学院大学 八王子キャンパス(東京)	日本エアロゾル学会	jaast-touron@conf.bunken.co.jp
9月4日(水) } 6日(金)	混相流シンポジウム2024	富山大学五福キャンパス(富山)	日本混相流学会	mfsymp2024@jsmf.gr.jp http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2024/
9月10日(火)	第3回標準化セミナー 微小粒子の破壊・変形強度の測定方法とその応用展開	ウインクあいち(愛知)	日本粉体工業技術協会	https://form.run/@registrationstandardization
9月10日(火) } 12日(木)	第37回秋季シンポジウム	名古屋大学(愛知)	日本セラミックス協会	https://fall37.ceramic.or.jp
10月10日(木) } 11日(金)	第43回 農薬製剤・施用法シンポジウム	つくば国際会議場(茨城)	日本農薬学会 農薬製剤・施用法研究会	048-654-7074 seizaisympo@affrc.go.jp
10月20日(日) } 24日(木)	The 10th International Symposium on Surface Science (ISSS-10)	北九州国際会議場(九州)	日本表面真空学会	https://www.jvss.jp/conference/iss10/

▶ 会員 消息

会 員 数

2024年3月23日現在

維持会員	19 社
賛助会員	70 社
事業所会員	238 社
個人会員	385 名
学生会員	88 名
図書館会員	21 社
名誉会員	89 名

会員総数 910

▶ 会 務 報 告

© 2024年度 第2回理事会

日 時：2024年3月23日(土) 14:30～16:30

場 所：京都経済センター、Microsoft Teams でのハイブリッド開催

出席者：25名(理事20名, 監事2名, 参事3名)

欠席者：8名(理事6名, 参事2名)

議 事：

[報告事項]

報告事項1 2024年度第1回理事会議事録の確認

報告事項2 代表理事の職務の執行状況の定期報告

報告事項3 2024年度行事報告・行事予定・本部行事

報告事項4 2024年度春期研究発表会・イブニングセミナー等について

報告事項5 第58回技術討論会の準備状況

報告事項6 第59回夏期シンポジウムの準備状況

報告事項7 2024年度秋期研究発表会の準備状況

報告事項8 各種委員会報告

和文誌編集委員会

英文誌編集委員会



賞審査委員会
 企画委員会
 制度・会則等検討委員会
 表彰委員会
 その他委員会
 報告事項9 会員数、会費納入状況の件

[審議事項]

第1号議案 各種行事関係
 第2号議案 各種委員会関係
 賞審査委員会：各賞受賞候補者および授賞理由の件

企画委員会：2024年粉体塾の件、POWTEX 2024の件
 制度・会則等検討委員会：規程類の件
 表彰委員会：功績賞授賞理由の件、アシザワ粉体工学未来賞に関する覚書の件
 第3号議案 入会会員承認の件
 第4号議案 日本学術振興会賞の推薦について
 第5号議案 事務局契約社員の正規社員への移行について
 第6号議案 非会員の講演申し込みについて

2024年度第1回粉体材料設計研究会 『粉体と芸術の連携を探る』

粉体材料設計研究会は、『非営利活動法人富士山からはじまる天然顔料と粉碎の研究会』および『横浜国立大学先進セラミックス創造研究拠点』との連携によって、下記のように本年度第1回研究会を開催致します。今回芸術の分野からは、砂と石が形成する縮景芸術である「盆石」を取り上げ、その魅力を知るとともに実演も楽しんで頂く機会を設けました。さらに、粉体工学の分野からは、横浜国立大学より2件の講演を企画し、粉体と芸術の連携について考えてみたいと思います。

なお、今回も対面での開催に加えて、聴講者の利便性も考慮し、オンラインでの視聴も可能にしました。皆さん奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

日時：2024年5月29日（水）13:30～16:30

場所：横浜国立大学附属図書館メディアホール

横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-7

キャンパスマップ (https://www.ynu.ac.jp/access/map_campus.html)

オンライン聴講 URL：https://teams.microsoft.com/l/meetup-join/19%3ameeting_MmQxZGQxOWUtZDk1Ni00OWUxLTk1NTEtYTJkZWZhM2E1MjI2%40thread.v2/0?context=%7b%22Tid%22%3a%2292adf237-4660-4948-8270-9faaf4857429%22%2c%22Oid%22%3a%22ea6766cb-300b-42a6-a271-80c89f4841a6%22%7d

共催：非営利活動法人富士山からはじまる天然顔料と粉碎の研究会
 横浜国立大学 先進セラミックス創造研究拠点

参加費：無料

プログラム：

- 13:30～13:35 開会挨拶 (横浜国立大学大学院教授 多々見 純一)
- 13:35～14:15 砂と石が形成する縮景芸術「盆石」の魅力語る (かすみ九曜会社中 孫崎 紀子 氏)
- 14:15～15:00 粉碎による有機結晶の多彩な発光色変化 (横浜国立大学大学院准教授 伊藤 傑 氏)
- 15:00～15:30 展示見学
 (NPOの活動紹介、粉碎天然顔料サブミクロン粒子の書体験、盆石の実演など)
- 15:30～16:15 湿式ジェットミルによるアパタイト粒子凝集体の解砕と磁場配向 (横浜国立大学大学院教授 多々見 純一)
- 16:15～16:30 総合討論 (大阪大学名誉教授 内藤 牧男)

問い合わせ先：横浜国立大学 多々見・飯島研究室 小池 弘子

TEL: 045-339-3959 E-mail: h-koike@ynu.ac.jp

(ご参加にあたり、事前にご連絡いただければ幸いです。)

2024 年度第 1 回粉体グリーンプロセス研究会

日 時：令和 6 年 5 月 29 日（水）13:00～17:00

場 所：兵庫県立大学姫路工学キャンパス C 棟 5 階 C519 会議室
（〒671-2280 兵庫県姫路市書写 2167 番地）

※講演会のみオンラインとのハイブリッド開催

主 催：一般社団法人粉体工学会粉体グリーンプロセス研究会

共 催：一般社団法人粉体粉末冶金協会粉体基礎分科会

一般社団法人粉体工学会粉砕の高度利用研究会

公益社団法人化学工学会粒子・流体プロセス部会粉体プロセス分科会

プログラム：

13:00 受付開始

13:30～13:40 開会挨拶, 自己紹介

13:40～14:30 両親媒性分子の自己組織化と形態制御による機能性膜材料の開発

兵庫県立大学大学院工学研究科
助教 田口 翔悟 氏

14:40～15:30 ナノバブル関連研究の進捗

兵庫県立大学大学院工学研究科
准教授 飯村 健次 氏

15:40～16:30 次世代農業パイオニアに駆動される北海道伊達市での共成長

室蘭工業大学大学院工学研究科
教授 山中 真也 氏

16:40～17:00 研究室見学会

参加費：無料

定 員：対面 20 名, オンラインは制限なし

参加申込方法：下記サイトからお申し込み下さい。

右の QR コードからもアクセス可能です。

<https://forms.gle/2xHu6zCqRpULQ7Nt7>

申込締切：2024/5/21（火）17:00 まで



【問い合わせ先】

兵庫県立大学大学院工学研究科 佐藤根

E-mail: satone@eng.u-hyogo.ac.jp

TEL/FAX: 079-267-4842



法人会員様限定 第7回粉体塾—粉体工学の基礎の基礎—ご案内

昨年度に引き続き、本年度も法人会員様限定（無料）の「粉体塾」を開催いたします。

粉体塾は、粉体工学の最も基礎的なところに焦点を当てて、講義を行うものです。この企画は、少人数でアットホームな環境において講師と受講生との質疑、討論を通じて、受講生に、粉体技術を使いこなし、イノベーションを生み出すための基盤を提供することを目指しております。可能な限り受講生の皆様との議論を深めるよう努力いたしますので、是非奮ってご参加ください。本年度はハイブリッド方式にて開催します。

日時：2024年6月18日（火）13:30～16:40

場所：京都経済センター会議室

〒600-8009 京都市下京区烏丸四条通室町東入函谷鉾町78番地

または

web配信（Microsoft Teams）*ご都合に応じてお選びください。

プログラム：

13:30～15:00 「最新粉体工学。概論」

講師：創価大学工学部 教授 松山達 氏

粉体工学会では2022年2月に『粉体工学用語辞典 web版』を公開しました。約2500語の見出し語が収録されています。誰でもアクセスできますし、主要検索エンジンからも到達できます。現在までそれなりの実アクセスも得られているようです。今回の粉体塾では、公開から2年を経過したこれまでに、用語辞典 web版でどのような用語にアクセスがあるのかといった、アクセス情報解析の結果をざっくりと眺めながら、「最近の粉体工学」全般についての俯瞰を議論してみたいと思います。意外な用語がアクセス上位に出現したりします。お楽しみに。そして講師としては参加者との質疑を愉しみにしています。皆さまとの質疑の結果を次回以降の開催内容に反映させたいと考えています。

15:00～15:10 休憩

15:10～16:40 「粉碎とシミュレーションによる粉体プロセスの設計」

講師：東北大学多元物質科学研究所 教授 加納純也 氏

粉碎は、ものづくりにおいて最初の一步ともいえる重要なプロセスであり、食品、電子材料、医薬品、土木、資源など様々な分野で活躍している。その中で、粉碎の技術も高性能化、高効率化、新しい機能の付与など常に発展を続けている。本講義では、粉碎の基礎として、粉碎機構、粉碎方法、粉碎の評価、粉碎装置等とシミュレーションを活用した粉体プロセスの設計について紹介する。

参加費：無料。

定員：50名様（お申込み先着順）

申込方法：法人会員に在籍している社員の方でしたら、どなたでも参加できます。参加ご希望のかたは、



第7回粉体塾申込みフォーム

よりお申込みください。参加者は、原則、各社3名様までとさせていただきます。

申込み締め切り：5月末日（但し定員になり次第締め切ります）

申込み、お問合せ先：一般社団法人粉体工学会事務局（事務局長 金谷宛）

TEL: 075-351-2318 E-mail: office@sptj.jp

この5月号は、昨年7月27・28日に薩摩川内市で開催された第57回技術討論会「カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーを支える分離技術」の特集号です。この討論会の実際の様子については、昨年の10月号に、シンポジウム報告記、印象記と編集後記に書かれているので参照願います。開催内容、盛況ぶりともに出色の討論会となったと聞いています。環境および資源の問題は、産学官ともに、避けて通れない社会的、地球的問題であり、早期、かつ持続的な取り組みが必要です。テーマ課題を実現するために、「分離技術」は重要なキーテクノロジーであり、これに関連して、粉体工学および他の分野からの研究・技術紹介、そして議論が行われたことは大変意義深かったと思います。本号には、討論会で発表された内容より、論文1件、技術資料5件の執筆をいただきました。これらをはじめとして、討論会で議論された研究・技術が進展し、環境負荷の低減および資源の循環利用の持続的な実現に貢献していくことを願い、私自身も取り組みたく思います。

さて、本年度の技術討論会（第58回）は「粉体成形プロセスに関する最新技術動向 一造粒から成形まで」と題して、7月25・26日に名古屋工業大学で開催予定です。この号の発刊日は、一般講演等の申し込み締切の数日前となっている頃と思いますが、関係の研究者・技術者の方々には参加のご検討をよろしくお願いいたします。

(ミリングぽっと)

本会誌は会員の皆様の原稿でつくられます。会員の皆様方からの論文のほかに、解説、総説、技術資料、講座・講義、学位論文紹介、海外報告、四分法等の一般記事のご投稿もお願いいたします。投稿表紙ならびに投稿規程および投稿の手引きは当会のホームページ (<http://www.sptj.jp>) よりダウンロードできます。投稿規程と投稿の手引きは、1号に掲載しています。

編集委員

委員長	飯村 健次	
副委員長	田原 耕平	
編集委員	芦澤 直太郎	飯島 志行
	石田 尚之	岩崎 智宏
	荻 崇	門田 和紀
	加納 純也	小澤 隆弘
	近藤 光	高井 千加
	田中 秀和	丹野 賢二
	中村 圭太郎	仲村 英也
	松永 拓郎	山本 徹也
	吉田 幹生	渡邊 哲
事務担当	奥村 しのぶ	

◆ 次号予告 ◆

巻頭言	企業での研究開発に携わって	片山 和彦
研究ノート	フィルムコーティング錠のセルロース誘導体が粉碎調剤に及ぼす影響	山添絵理子 他
解説	APT 掲載論文シリーズ 噴霧乾燥によるセルロースナノファイバーの粒子化、ナノ構造制御、機能化	Nur Syakirah Nabilah Saipul Bahri 他
解説	SDGs シリーズ 酢酸セルロース球状粒子の化粧品への応用	大村 雅也
解説	フロンティア研究シリーズ 数値シミュレーションで探るスラリーのレオロジー特性と構造の関係	辰巳 怜
	粉体の力学挙動解明のための位相的データ解析の活用	石原 真吾
新・基礎粉体工学講座 第2章 粉体の生成と生産プロセス		
2.3 晶析		
2.3.6 微細な気-液界面に生じる局所過飽和場の晶析操作への応用		松本 真和 他

令和6年4月30日印刷

令和6年5月10日発行

粉体工学学会誌

© The Society of Powder Technology, Japan

第61巻第5号(通巻660号)(2024)

一般社団法人粉体工学学会：〒600-8176 京都市下京区烏丸通六条上ル北町181 第5キョートビル7階

TEL: 075-351-2318 FAX: 075-352-8530

No. 5 Kyoto Bldg., 181 Kitamachi, Karasuma-dori, Rokujo-agaru, Shimogyo-ku, Kyoto 600-8176, Japan

E-mail: office@sptj.jp (庶務) kaishi@sptj.jp (和文誌編集) URL: <https://www.sptj.jp/>

編集兼発行人：一般社団法人粉体工学学会(代表理事会長 後藤 邦彰)

印刷所：中西印刷株式会社

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

TEL: 075-441-3155 FAX: 075-417-2050 E-mail: funtai@nacos.com